

## 施策評価資料

施策名	<b>1</b> 希望が叶い、安心して出産・子育てできる環境づくり	主担当課	子育て支援課
施策の将来像	結婚や子どもを持つ希望が実現し、安心して出産・子育てができ、子供が健やかに成長できる環境が整っています。		

目標指標の達成状況							
No.	指標名 (単位)		R4	R5	R6	R7	R8
1	子どもがいる家庭における「子育て支援の充実」の満足度 (%)	目標値	—	31	—	32	—
		実績値	—				
2	こども医療費受給資格の登録率 (%)	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	100				
3	妊娠届出時の専門職面接相談実施率 (%)	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	100				

施策を構成する 主な事業の実施状況		
No.	項目	内容
1	事業名	<b>子育て家庭支援事業費</b>
	<実施内容>	ゆーとりんの運営：利用者2,217人 赤ちゃんふれあい体験交流事業：10校で実施し、772人が参加 かめまっこ にこにこフェスタの開催：来場者428人 チャイルドシート購入費の補助：235件 2,061,400円 子育て支援イベント開催経費の補助：7件 753,000円
	<成果や課題>	●乳幼児とその親の交流施設『ゆーとりん』は、年間利用者目標2,000人に対し、2,217人の利用があり、子育てに不安を感じる家庭の支援に役立った。 ●中学生を対象とした『赤ちゃんふれあい体験交流事業』は、10校で772人が参加し、子育てに対する期待感や意欲の醸成に取り組めた。 ●チャイルドシート購入費補助は、235件の利用がありニーズに適した取組ができています。 【課題】親子イベント『にこにこフェスタ』は、来場者428人と好評のため、主体的に子育てグループや民間が取り組めるよう見直しの検討が必要である。
	<所管部署による事業の評価>	<b>B：事業の進め方を改善・検討する</b>
	<今後の取組方針>	▶『ゆーとりん』の運営や『赤ちゃんふれあい体験交流事業』は、計画どおり継続する。 ▶『にこにこフェスタ』は、委託から補助への切り替えを検討する。

2	事業名	こども医療対策事業費
	<実施内容>	登録児童数：11,210人 助成件数：165,981人 助成額：325,720,461円
	<成果や課題>	<p>●『こども医療費の現物給付』は、子育て家庭の経済的負担の軽減につながり、受診のしやすさから疾病の早期発見と治療を促進することができている。</p> <p>【課題】一方で受診の手軽さが安易な受診・給付につながるため、適正な受診を市民に啓発していく必要がある。</p> <p>【課題】少数ではあるが“資格喪失後（転出等）も受給者証を使用する事例”が発生しており、それを避けるため、転出など資格を喪失する対象者には窓口で使用期限を確実に伝える工夫が必要になる。</p>
	<所管部署による事業の評価>	<b>B：事業の進め方を改善・検討する</b>
<今後の取組方針>	<p>※令和5年4月診療分から高校生3年生相当まで現物給付を拡大した。</p> <p>▶子育て家庭の経済的支援・こどもの保健向上を促進のため事業は継続する。</p> <p>▶対象年齢拡大により安易な受診と資格の相違による返戻の増加が懸念されるため、コミュニティセンターや医療機関を通して市民に対し改めて周知を図る必要がある。</p>	
3	事業名	放課後児童健全育成事業費
	<実施内容>	放課後児童クラブの運営委託：31施設42クラス 211,354千円 登録児童数:1,321人(平均) 待機児童数:なし さつきが丘小学校学童保育館整備設計業務委託：7,821千円 高換気機能エアコン設置：3施設4台 1,569千円 物価高騰対策支援のための補助金交付：30施設 4,500千円
	<成果や課題>	<p>●放課後児童クラブの運営委託により、約1,300人の児童に適切な遊びと生活の場を提供できた。</p> <p>●利用希望が多い東小学校や中央小学校等の対応として、施設を1か所(にじいろクレヨン)増やし、待機児童数0件を維持することができた。。</p> <p>【課題】保護者会が運営しているクラブは、支援員の確保等運営の負担が大きく、見直しが求められている。</p>
	<所管部署による事業の評価>	<b>B：事業の進め方を改善・検討する</b>
<今後の取組方針>	▶共働き家庭等の増加により高まるニーズに対応し、待機児童の発生を防止するため、令和5年度には、さつきが丘小学校学童保育館の建替え及び晃望台学童クラブの建替え支援を実施する。	

4	事業名	<b>子育て保健サービス事業</b>
	<実施内容>	不妊治療支援事業：助成件数77件 助成額6,256,800円 妊産婦健康診査：受診者数1,247人 件数6,806件 妊産婦新生児訪問指導：訪問指導件数 妊産婦605件 新生児82件 乳児884件 子育て世代包括支援センターの運営：面接相談件数 妊婦510件 出生時466件 その他207件 その他の子育て保健サービス事業 乳幼児健診受診率98.4% 母子健康相談2,059件、発達相談216件、 健康教育（妊産婦乳幼児思春期等）参加者2,296人
	<成果や課題>	●妊産婦や乳幼児の訪問指導は、妊産婦605件、新生児82件、乳児884件実施できた。また、集団での健康教育を再開し、参加親子同士の交流も図ることができた。 ●妊産婦健康診査は、1,237人が6,806件利用され、また、不妊治療の助成は77件の利用があり有効な取組として実施できた。 ●保険適用外の不妊治療に対しては、今後の国県の動向を注視しながら、助成を継続していく必要がある。
	<所管部署による事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>
	<今後の取組方針>	▶必要な人への相談支援をタイムリーに提供していくとともに、集団での健康教室や相談の場を活用し、妊産婦や乳幼児、保護者同士の交流による相互支援の効果も期待できるような事業推進を図る。
5	事業名	<b>こども発達支援センター運営費</b>
	<実施内容>	あおば園の運営：通園児童数 1 4 6 人 専門指導：発達相談（臨床心理士）3 6 回、発達相談（小児科医）2 2 回、 理学療法 1 0 回、音楽療法 2 4 回、作業療法 6 9 回 児童発達支援事業：保育士による療育の実施 新規通園児童 7 2 人 障害児相談支援事業：モニタリング 3 7 9 件 言語聴覚士による巡回相談：8 園 1 4 ケース
	<成果や課題>	●あおば園では、遊びを通して日常生活の基本動作の指導等を行う療育や相談支援を実施し、発達に課題を抱える通園児童約150名への支援を行うことができた。 ●言語聴覚士による巡回相談を8園で実施し、支援対象児の早期発見や保護者への助言を行うことができた。 【課題】施設運営にあたり、計画的な有資格者の育成や療育を行う保育士の確保が必要である。
	<所管部署による事業の評価>	<b>B：事業の進め方を改善・検討する</b>
	<今後の取組方針>	▶計画的な資格者の育成や保育士の確保により、安定した事業所運営を目指し、その上で療育内容の充実を図っていく。

施策名	<b>2 すこやかな成長を実現する保育サービスの充実</b>	主担当課	保育課
施策の将来像	官民の連携・協働により、保護者の就労など多様な保育ニーズにも対応可能な保育体制が構築されています。		

目標指標の達成状況		R4	R5	R6	R7	R8
No.	指標名 (単位)					
1	待機児童数(4月1日) (人)	目標値	0	0	0	0
		実績値	0			
2	子どもがいる家庭における「保育サービスの充実」の満足度 (%)	目標値	—	33	—	34
		実績値	—			

施策を構成する 主な事業の実施状況		内容
No.	項目	
6	事業名	<b>施設型給付・地域型保育給付等事業費</b>
	<実施内容>	民間保育園、認定こども園等の施設や特別保育事業に対する補助金の給付 地域子育て支援センターの運営：利用者数9,973人
	<成果や課題>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●民間保育施設等へ補助金を給付することで、安定した保育環境が提供できた。</li> <li>●ひまわりサロン（こじか保育園内）、ベリーサロン（茂呂保育園内）、あおぞらサロン（清洲保育園内）、にっこりサロン（にっこり保育園内）の4施設で実施している『子育て支援事業』については、施設間で連携を図りながら、利用者同士の交流や各種イベント、子育て相談を行うことができた。</li> </ul> 【課題】コロナ禍で減少した利用者が回復してきており、さらなる利用拡大を図る必要がある。
	<所管部署による事業の評価>	<b>B：事業の進め方を改善・検討する</b>
	<今後の取組方針>	▶子育て支援事業については、参加してみたいと思うようなイベントの開催や育児相談の充実、事業のPRを図ることで、より多くの方に利用してもらい、子育てに対する不安・心配の解消につなげる。

7	事業名	<b>保育所運営費</b>
	<実施内容>	公立保育園の運営及び維持管理（保守点検、設備器具修繕等） 会計年度任用職員（保育士65人、調理員22人、看護師2人、その他14人）の任用 保育士等の専門研修受講 16講座83人 安全で美味しい給食の提供（食物アレルギー16人対応） 新型コロナウイルス感染予防対策の強化 （高圧蒸気滅菌器、空間除菌脱臭機、扇風機、抗菌テーブル等の購入）
	<成果や課題>	●公立保育園の円滑な運営を図り、良好な保育サービスを提供して、子育て支援に寄与した。 ●保育サービスの提供を継続するため、新型コロナウイルス感染予防対策を強化した。 【課題】慢性的に保育士が不足しており、人材確保のために安心して働き続けることのできる魅力ある職場づくりが必要である。
	<所管部署による事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>
	<今後の取組方針>	▶公立保育園は、子育て支援においてリーダー的な役割を担いながら、民間保育園では対応が難しい保育や保育定員の調整等を図る必要があることから、適切な保育環境や人材の確保と育成に努めて、さらなる保育サービスの向上を図っていく。
8	事業名	<b>児童福祉施設整備事業費</b>
	<実施内容>	R5晃望台認定こども園化整備に向けた準備 新型コロナウイルス感染症対策：民間保育園等に対するコロナ対策備品・消耗品等の経費補助 25園 10,463,842円
	<成果や課題>	●新型コロナウイルス感染症対策として民間保育園等25園に対してコロナ対策のための備品・消耗品等の経費を補助した。 【課題】待機児童数は毎年0人を継続しているが、3歳未満児の保留となっている児童も相当数いるため、安心して子育てができる保育環境の整備を継続して実施していく必要がある。
	<所管部署による事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>
	<今後の取組方針>	▶多様化する保育ニーズを的確に把握し保育量の確保に努め保育環境の充実を図る。

施策名	<b>3 良好な家庭環境の構築</b>	主担当課	こども・家庭サポートセンター
施策の将来像	各家庭と行政、地域、団体等が協働・連携することで、全ての子どもが健やかで心豊かに成長できる環境が整っています。		

目標指標の達成状況

No.	指標名 (単位)		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
1	要保護児童及び要支援家庭に対する専門的支援の実施率 (%)	目 標 値	100	100	100	100	100
		実 績 値	100				
2	児童虐待相談対応における終結率 (%)	目 標 値	45.2	46.4	47.6	48.8	50.0
		実 績 値	31.3				
3	給付金を支給した、ひとり親の就業率 (%)	目 標 値	100	100	100	100	100
		実 績 値	100				

施策を構成する  
主な事業の実施状況

No.	項目	内容
9	事業名	<b>家庭こども相談事業費</b>
	<実施内容>	相談対応件数：3,415件（うち児童虐待対応件数 1,845件） 「子どもの居場所」の委託候補者の選定
	<成果や課題>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 養育上の様々な問題を抱える家庭に対し、関係機関と連携したきめ細かな相談支援を行い、支援体制の充実に寄与することができた。</li> <li>● 子どもの居場所づくり事業について、委託候補者を選定した。 ※令和5年6月に子どもの居場所を開設した。</li> </ul> <b>【課題】</b> 家庭が抱える問題の複雑化に加え、児童虐待を含む相談対応件数の高止まりにより、一層の支援体制強化が必要である。
	<所管部署による事業の評価>	<b>B：事業の進め方を改善・検討する</b>
	<今後の取組方針>	▶ 家庭での問題は多様化、複雑化しており、様々な困難を抱えている子育て世帯に対する相談・支援機能の充実を図っていく。

	事業名	ひとり親家庭福祉対策費
	<実施内容>	自立支援プログラムの策定：3件 高等職業訓練促進給付金の給付：11件 母子生活支援施設入所：1件
10	<成果や課題>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ひとり親家庭への自立支援として、訓練給付金等により就労につなげ、貧困対策に寄与することができた。</li> <li>●ひとり親家庭への支援については、今後も引き続き広く制度を周知していく必要がある。</li> </ul>
	<所管部署による事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>
	<今後の取組方針>	▶ひとり親家庭の就業による自立に向けた支援として重要であり、事業を継続的に実施していく。

施策名	<b>4 未来を拓く学校教育の推進</b>	主担当課	学校教育課
施策の将来像	児童生徒が様々な変化に主体的に向き合い、自らの可能性を発揮し、多様な他者と協働して創造する力や心の豊かさを身に付け、よりよい社会と幸福な人生の創り手となっています。		

**目標指標の達成状況**

No.	指標名 (単位)		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
1	自分で計画を立てて学習をしている 児童・生徒の割合 (%)	目 標 値	70.0	71.0	72.0	73.0	74.0
		実 績 値	67.9				
2	英検3級程度以上の英語力を有する 中学3年生の割合 (%)	目 標 値	46	52	58	64	70
		実 績 値	39				
3	相談者 (適応障害、行き渋りなど) のニーズに沿った相談を展開した割合 (%)	目 標 値	95.5	96.0	96.5	97.0	98.0
		実 績 値	97.0				

**施策を構成する  
主な事業の実施状況**

No.	項目	内容
11	事業名	<b>教育研究所事業費</b>
	<実施内容>	授業力向上モデル校事業 国語科、算数・数学科、外国語活動・外国語科、体育科、道徳、特別活動、 かぬま教育研究の日における全教職員研修 教職2, 3年目研修 授業力向上訪問
	<成果や課題>	●市内全校に対して研修の機会をもつことができた。 ●かぬま教育研究の日について実施後の教員へのアンケート「研修が明日からの授業改善につながると思うか」において、肯定的な回答が98.6%だった。
	<所管部署による 事業の評価>	<b>A : 計画どおりに事業を進める</b>
	<今後の取組方針>	▶引き続き、モデル校事業や研修を通じて教員の指導力向上を図る。

12	事業名	<b>外国語指導助手報酬</b>
	<実施内容>	ALT 14名配置 ALTの授業支援において、各校で主体的に取り組めるよう、教員研修会の充実を図った。 ALTの授業力向上研修を定期的実施した。 小中学校でのパフォーマンステストの見直しを実施した。
	<成果や課題>	●ALTが学校で過ごす時間が増えることで、英語の授業力向上につながったり、児童生徒が異文化に興味をもったりして、英語教育の充実に大きな効果があった。
	<所管部署による事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>
	<今後の取組方針>	▶ALTの学校訪問をできるだけ増やし、協働の授業力向上を目指していく。
13	事業名	<b>教育相談専門員報酬</b>
	<実施内容>	教育相談専門員を13人配置し、不登校や学校不適応をはじめとする学校に関する様々な相談に対応した。 相談申込者数：223件 年間対応ケース数：1672件
	<成果や課題>	●相談者の様々なニーズに応じて、寄り添いながら相談をすすめることができた。 ●相談者の満足度は90%であったが、無回答が10%あり概ね計画どおりである。
	<所管部署による事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>
	<今後の取組方針>	▶教育相談専門員の更なるスキルアップを目指し、計画どおりに進める。

施策名	5 次代につなぐ教育環境の充実	主担当課	教育総務課
施策の将来像	充実した学習環境と安全で快適な教育環境が整っています。		

目標指標の達成状況							
No.	指標名 (単位)		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
1	統合などの検討が必要な小学校数 (校)	目 標 値	7	7	7	4	3
		実 績 値	10				
2	5年間の施設整備進捗率 (%)	目 標 値	11	33	59	82	100
		実 績 値	10				
3	小中学校ICT機器の更新台数(累計) (台)	目 標 値	248	600	917	8,152	8,152
		実 績 値	320				

施策を構成する 主な事業の実施状況		
No.	項目	内容
14	事業名	<b>校舎等施設整備事業費 (小学校費)</b>
	<実施内容>	西小学校屋内運動場長寿命化改良工事等：101,995,000円 【R3年度繰越事業】 石川小学校給排水設備外改修工事等：101,959,000円 北小学校外周フェンス改修工事：22,649,000円 【R4コロナ交付金事業】 菊沢西小学校トイレ洋式化工事：1,012,000円、南押原小学校トイレ洋式化工事：935,000円、楡木小学校トイレ洋式化工事：1,188,000円
	<成果や課題>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●安全で快適な教育環境を提供するため、学校トイレの洋式化や給水設備改修工事を行った。</li> <li>●大規模改修は工事期間中、施設（校舎、屋体、校庭等）に使用制限が係ることから学校と調整し、事故無く工事を実施する必要がある。</li> <li>●築30年を経過した校舎や屋内運動場が約70%を占め、老朽化が進んでいる学校施設は、学校適正配置等基本計画や長寿命化計画に基づき、優先順位を決めて計画的に整備を進める必要がある。</li> </ul>
	<所管部署による事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>
	<今後の取組方針>	▶継続して優先順位を決めて長寿命化改修等を計画的に進める。

15	事業名	<b>校舎等施設整備事業費（中学校費）</b>
	<実施内容>	北中学校屋内運動場長寿命化改良工事等：120,135,000円 【R3年度繰越事業】 栗野中学校トイレ洋式化工事：26,267,000円 【R4コロナ交付金事業】 板荷中学校校舎1階東男子トイレ外洋式化工事：792,000円 南摩中学校トイレ洋式化工事：858,000円
	<成果や課題>	●安全で快適な教育環境を提供するため、学校トイレの洋式化や給水設備改修工事を行った。 ●大規模改修は工事期間中、施設（校舎、屋体、校庭等）に使用制限が係ることから学校と調整し、事故無く工事を実施する必要がある。 ●築30年を経過した校舎や屋内運動場が約70%を占め、老朽化が進んでいる学校施設は、学校適正配置等基本計画や長寿命化計画に基づき、優先順位を決めて計画的に整備を進める必要がある。
	<所管部署による事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>
<今後の取組方針>	▶継続して優先順位を決めて長寿命化改修等を計画的に進める。	
16	事業名	<b>情報化教育推進事業費</b>
	<実施内容>	①小中学校の校務用パソコンの更新：合計320台 （内訳） ・小学校：5校【栗野小、粕尾小、永野小、清洲第1小、清洲第2小】計108台 ・中学校：4校【北犬飼中、栗野中、東中、西中】計212台 ②小中学校におけるICT機器の借上・修繕や校務支援システム、タブレット端末の保守、ICT支援員派遣業務を実施した。
	<成果や課題>	●計画的なICT機器の更新により、教育現場におけるICT機器の性能向上、事務効率を向上することができた。 【課題】今後、タブレット端末等の更新が控えており、導入方法、台数などについて検討する必要がある。
	<所管部署による事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>
<今後の取組方針>	▶ICT機器の導入及び更新を計画どおり進める。	
17	事業名	<b>学校給食共同調理場施設整備事業費</b>
	<実施内容>	北犬飼地区調理場整備工事 ・津田小学校給食調理室改修・プラットホーム改修等（拠点校としての整備） ・石川小学校給食調理室改修・プラットホーム改修等（受配校としての整備） ：25,505,700円 給食業務委託の推進(北犬飼地区調理場R5運営開始) ・条例改正 ・給食調理及び配送業務委託
	<成果や課題>	●北犬飼地区で親子式共同調理場が整備されたことで、拠点校（津田小）の栄養教諭を中核とした食に関する指導が実施が可能となった。 ●調理業務を集約した津田小で民間業務委託を導入したことで、学校給食業務の効率化が図れた。 【課題】施設・機器が老朽化しているきいている調理場もあり、改修計画に基づき計画的な改修等が必要である。 【課題】定年による調理員の減少に向け、単独実施校の計画的な地区調理場への集約が必要である。
	<所管部署による事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>
<今後の取組方針>	▶施設・機器改修計画に基づき計画的な改修等を行っていく。 ▶小中学校の適正配置と整合を図りながら、単独実施校等の計画的な地区調理場への集約を検討する。	

施策名	6 地域とともに高める学びの推進	主担当課	生涯学習課
施策の将来像	誰もが学び合うことができ、地域の文化を大切にしながら、地域に根差した活躍ができるまちづくりが進んでいます。		

目標指標の達成状況							
No.	指標名 (単位)		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
1	市主催の生涯学習講座等への参加率 (%)	目標値	—	8.0	—	10.0	—
		実績値	—				
2	地域でのサークル活動等への参加率 (%)	目標値	—	14.0	—	15.0	—
		実績値	—				
3	コミュニティスクール導入校数 (校)	目標値	15	34	34	34	34
		実績値	13				
4	市民文化センター利用者数 (人)	目標値	131,793	132,113	132,433	132,754	133,076
		実績値	78,703				

施策を構成する 主な事業の実施状況		
No.	項目	内容
18	事業名	<b>社会教育推進事業費</b>
	<実施内容>	コミュニティ・スクールの推進 (新規導入校8校、導入準備21校) 地域学校協働活動推進本部会の活動支援 公民館事業 (講座等) の開催 家庭教育学級: 42学級開設、学級生徒874人 子育てゼミナールの開催: 参加者104人 子育て交流のつどいの開催: 参加者217人
	<成果や課題>	●コミュニティ・スクールは、1校目を令和元年度に導入し、段階的に導入を進めてきた。【課題】令和5年度に市内全校への導入が完了するため、今後は効果的な運用に向け、引き続き事例等の情報提供やアドバイスを行う必要がある。 ●公民館事業・家庭教育学級・子育てゼミナール・子育て交流のつどい等の事業については、新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなったため、開催方法を工夫のうえ、概ねコロナ前の形態・規模で開催できるようになってきた。
	<所管部署による事業の評価>	<b>A: 計画どおりに事業を進める</b>
<今後の取組方針>	コミュニティ・スクールについては、市の役割を、令和4年度までの「導入準備」から「運用の支援」に移行し、引き続き支援する。 その他の事業についても、随時改善点を探りながら実施していく。	

19	事業名	<b>生涯学びのまち推進事業費</b>
	<実施内容>	かぬま学びフェスティバル：来場者約2,000人 生涯学習総合情報誌講座掲載：473講座掲載（307講座開催、延べ4,578名参加） かぬままちづくり出前講座：59講座、3,853人 まちかど先生出前講座：8講座、206人 生涯学習講座：21講座、延べ266名 一時保育事業：15件
	<成果や課題>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民に多種多様な学びの機会を提供し、生涯学習を支援することができている。</li> <li>●市が主催する事業については、地域課題解決をテーマにした講座等を積極的に実施するなど、企画の質を高めている。</li> </ul> 【課題】かぬま生涯学習大学のしくみが形骸化しており、しくみを見直し、無駄を省いた生涯学習推進体制の構築が必要である。 【課題】印刷製本費が高騰する中、情報提供機会を維持しながら、提供手段の改善を図る必要がある。 【課題】かぬまマイ・カレッジは数多くの生涯学習講座の企画と運営がされているが、事務局の高齢化により、継続性が課題となっている。
	<所管部署による事業の評価>	<b>B：事業の進め方を改善・検討する</b>
	<今後の取組方針>	▶市民の生涯学習が継続的に実施されていくよう、学習機会提供体制の質をできるだけ落とすことなく、事業実施体制を検討する。
20	事業名	<b>文化財保護活動費</b>
	<実施内容>	文化財の指定：1件、文化財の各種調査：25件、文化財の保護・保存支援：11件、埋蔵文化財発掘調査：20件、出土遺物の整理と活用：2件、鹿沼市文化財保存活用地域計画検討会議：2件、民俗行事の普及啓発：1件、地域伝統行事の継承：1件、展示施設の管理運営：3施設
	<成果や課題>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●少子高齢化や人口減少、社会情勢や市民の意識の変化が文化財の保存、活用に影響を及ぼし、文化財の滅失・散逸、伝統行事の継承が緊急の課題となっており、行政と市民の協働で、文化財を守り、活かし、伝える体制を構築し、事業を展開する必要がある。これを実現・推進するために「鹿沼市文化財保存活用地域計画」の策定を開始した。</li> <li>●市民等からの文化財の調査依頼、文化財の保護・活用・継承についての問い合わせ・要望等が年々増加しており、万全の対策を講じるためには、専門職員の配置・確保が不可欠である。</li> </ul>
	<所管部署による事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>
	<今後の取組方針>	▶事業の継続性が重要であり、市民共有の財産である文化財を次世代に伝えていくために、文化財指定を推進するとともに、種別に応じた調査や保護措置を法令に基づき継続して取り組んでいく。 ▶改正文化財保護法の趣旨を考慮した「鹿沼市文化財保存活用地域計画」を策定し、適切な文化財の保護を図りながら、柔軟な活用事業を推進していく。
21	事業名	<b>図書館管理費</b>
	<実施内容>	図書館本館空調更新、特定天井改修、照明LED化：令和5年度より10年間のリースで実施する。
	<成果や課題>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●図書館利用者については、増加傾向にある。</li> </ul> 【課題】R5年度は大規模工事が入り、一定期間休館（一部貸出業務などは別棟で行う予定、規模縮小）となるため、利用者への配慮が必要である。
	<所管部署による事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>
	<今後の取組方針>	指定管理者の募集に向けて、内容の精査を行う。

施策名	7 スポーツでつくる健康都市の推進	主担当課	スポーツ振興課
施策の将来像	誰もがスポーツに親しみ、楽しむことで、健康で生きがいを感じる、活力あるまちとなっています。		

目標指標の達成状況							
No.	指標名 (単位)		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
1	週1日以上スポーツする市民の割合 (%)	目標値	—	40	—	44	—
		実績値	—				
2	運動施設の利用者数の減少幅の抑制 (%)	目標値	90.5	89.0	87.5	86.0	84.5
		実績値	62.0				

施策を構成する 主な事業の実施状況		
No.	項目	内容
22	事業名	<b>生涯スポーツ振興事業費</b>
	<実施内容>	<p>幼児期からの運動習慣形成プロジェクトの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動遊び指導者研修会：2回開催、計56名参加</li> <li>・親子運動遊び教室：1回開催、22組44名参加</li> <li>・運動遊び体験指導者派遣事業：8園40回実施</li> <li>・親子運動遊び教室での親子でできる運動遊び等を30本、研修会の様子で5本の動画配信</li> </ul>
	<成果や課題>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業を通じ子供たちはもちろんのこと親世代や保育士等にも、幼少期から運動に親しみ運動する習慣を身につける重要性を伝えたことで生涯スポーツの推進に寄与した。</li> <li>● 県内では鹿沼市のみの取り組みとなった新規事業であったが、県担当者との連携の上で宇都宮共和大学を始めとした5団体の協力を得られたことは事業推進に大きな力となった。</li> </ul> <p>【課題】国からの公募で事業の実施時期が決まることから、予定していた事業をすべて行うことができなかった。</p>
	<所管部署による事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>
<今後の取組方針>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 令和5年度は再び公募を経ての事業となるため、引き続き応募し幼児期からの運動習慣形成プロジェクトを推進する。</li> <li>▶ 運動を通じた健康づくりは運動習慣が重要となるため、幼児期からその習慣を根付かせることと周りの大人にもその重要性を周知するため継続する必要がある。</li> </ul>	

23	事業名	<b>体育施設整備事業費</b>
	<実施内容>	<p>ヤオハンいちごパーク（鹿沼運動公園）陸上競技場全天候化改修測量、実施設計業務の実施</p> <p>御殿山公園南側トイレ改築工事</p> <p>鹿沼運動公園トレーニングセンター外階段脇トイレ洋式化工事</p> <p>下日向総合運動場整備工事（R3年度より繰越）</p> <p>施設の廃止（児子沼公園および台の原公園テニスコート、上粕尾プール）</p>
	<成果や課題>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●令和5年度に実施予定である鹿沼運動公園陸上競技場改修工事に向け、測量・実施設計業務を実施した。</li> <li>●令和3年度の「自然の森総合公園テニスコート」の改修に伴い、児子沼公園及び台の原公園テニスコートを廃止し、選択と集中による施設の整備を行った。</li> </ul> <p>【課題】本市のスポーツ施設については、全体的に老朽化していることから、今後も計画的な整備が必要である。</p>
	<所管部署による事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>
<今後の取組方針>	▶スポーツ施設全体が老朽化しており、選択と集中による施設整備を図る必要があることから、今後も計画どおり進める。	
24	事業名	<b>国体・障害者スポーツ大会推進事業費</b>
	<実施内容>	<p>障害者スポーツ大会リハーサル大会(卓球)の開催</p> <p>国体の開催</p> <p>（正式種目：バレーボール・卓球、公開競技：武術太極拳、デモンストレーションスポーツ：ウォーキング）</p> <p>障害者スポーツ大会(卓球)の開催</p>
	<成果や課題>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●両大会開催を契機とした活動を通じて、本市の魅力を県内外に広くPRすることができた。</li> <li>●国内最大のスポーツイベントである国体、障スポを開催したことで、それに係る準備等のノウハウを獲得できた。</li> </ul> <p>【課題】国体・障スポ開催レガシー事業の展開。どのように市民の記憶に残していくか。</p>
	<所管部署による事業の評価>	<b>事業完了</b>
<今後の取組方針>		

施策名	<b>8 共に助け合う地域づくりの推進</b>	主担当課	厚生課
施策の将来像	地域福祉を担う市民・団体・行政などの連携による地域の支え合いにより、全ての人たちが安心して暮らせるまちになっています。		

目標指標の達成状況							
No.	指標名 (単位)		R4	R5	R6	R7	R8
1	地域のボランティア活動への参加率 (%)	目標値	—	16	—	18	—
		実績値	—				
2	ボランティア登録者数 (件)	目標値	749	749	749	749	749
		実績値	865				

施策を構成する 主な事業の実施状況		
No.	項目	内容
25	事業名	<b>社会福祉総務事務費</b>
	<実施内容>	鹿沼保護区保護司会の活動支援： 内閣総理大臣メッセージ伝達式（広報活動）1回、中学校啓発活動5回 社会福祉法人の指導監査：6回 福祉相談支援体制の強化：関係部署・機関との協議、調整
	<成果や課題>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2年間実施できなかった「社会を明るくする運動」の啓発活動について、保護司会や関係団体と協力しながら支援を実施できた。 【課題】活動を実施する上で保護司適任者の安定的な確保が必要である。</li> <li>●社会福祉法人の監査については、計画に基づき実施できている。 【課題】監査経験のある職員の安定的な確保が必要である。</li> <li>●福祉相談支援体制の強化については、庁内WGにて情報の共有を行い、連携強化による相談支援体制の方向性が見いだせた。</li> </ul>
	<所管部署による事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>
	<今後の取組方針>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶保護司会の活動支援については、関係団体等と連携を図っていく。</li> <li>▶質の高い監査の実施に向けた職員の育成。</li> <li>▶連携強化の方向性を基本に、体制構築に向けた取組を進める。</li> </ul>

26	事業名	<b>民生児童委員費</b>
	<実施内容>	<p>全体研修会：2回 337名参加          新任民生委員・児童委員研修会：75名参加          高齢福祉部会研修：2回 76名参加          障がい福祉部会研修：2回 70名参加          児童福祉部会研修：2回 76名参加          地域福祉部会研修：2回 77名参加          主任児童委員部会研修：2回 43名参加</p>
	<成果や課題>	<p>【課題】令和4年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、座学での講話が中心だったため、お互いの意見交換がよくなかった。          単に、講話を聴くのみでなく、グループワークを取り入れ、積極的に参加する研修を増やす必要がある。</p>
	<所管部署による事業の評価>	<b>B：事業の進め方を改善・検討する</b>
	<今後の取組方針>	<p>▶講話のみでなく、お互いに意見交換ができる良い機会ととらえ、グループでの話し合いもできるように、研修の内容を組んでいく。          ▶地区を越えた意見交換により、年々複雑化する地域の問題への対応力の強化を図る。</p>

施策名	9 健康づくりの推進と地域医療の充実	主担当課	健康課
施策の将来像	誰もが住み慣れた地域で、いつまでも健康に生き生きと暮らすことができるまちになっています。		

目標指標の達成状況							
No.	指標名 (単位)		R4	R5	R6	R7	R8
1	週に3日以上運動をしている市民の割合 (%)	目標値	—	22	—	23	—
		実績値	—				
2	食生活に気を付けている市民の割合 (%)	目標値	—	79	—	80	—
		実績値	—				
3	ゲートキーパーの養成者数 (人)	目標値	200	200	200	200	200
		実績値	275				

施策を構成する 主な事業の実施状況		
No.	項目	内容
27	事業名	<b>健康マイレージ事業費</b>
	<実施内容>	チャレンジ15健康マイレージの実施 健診・検診を受診し、運動、食事の改善、日々の健康管理といった幅広い項目に取り組むことで、健康増進への意識付け（きっかけづくり）を図った。 事業参加者数：483人
	<成果や課題>	●検診・健診への受診を促し、定期的な運動や健康を意識づけて生活習慣を見直すきっかけづくりに貢献することができた。 【課題】若年層への参加を促すため、応募方法の創意工夫やSNSを活用するなどの周知方法の見直しが必要である。 また、景品についても市民のニーズや効果を見極めながら検討していく。
	<所管部署による事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>
	<今後の取組方針>	▶現在の実施内容と費用の中で、周知方法や応募要項等の改善や見直しをしつつ事業を進めていく。

28	事業名	<b>いきいきかぬま推進事業費</b>
	<実施内容>	<p>ゲートキーパー養成研修9回275回            支援者向け(職員・民生委員児童委員・食生活改善推進員)：7回246人            市民向け：2回29人            普及啓発事業：6,880人            保健事業や9月の自殺予防週間、3月の自殺対策強化月間の他、自殺の現状を受け、自治会班回覧にて相談窓口一覧を配布した。            思春期健康教育：6校740人            小中学生と保護者を対象として「命の大切さ」「SOSの出し方教育」についての講話            まちの保健室：27回265人</p>
	<成果や課題>	<p>【課題】平成28年以降自殺者数は減少傾向にあったが、令和4年に増加に転じた。悩み苦しんでいる方が適切な相談機関や医療につながるよう、相談窓口の啓発やゲートキーパー養成に更に力を入れて実施していく必要がある。</p>
	<所管部署による事業の評価>	<b>B：事業の進め方を改善・検討する</b>
	<今後の取組方針>	<p>▶啓発事業については、「お守り型相談窓口一覧(成人版)」の民間事業所等への設置や「こころといのちの講演会」を実施する等、啓発事業を強化していく。            ▶市民の身近な相談者である民生委員児童委員や薬剤師、市職員に向け、ゲートキーパー養成研修を実施していく。</p>
29	事業名	<b>がん予防対策事業費</b>
	<実施内容>	<p>各種がん検診の実施(集団検診・個別検診)            胃がん：3,537人 肺がん：4,858人 大腸がん：6,077人            子宮がん：3,409人 乳がん：3,669人 前立腺がん：3,497人            がん患者へのウィッグや乳房補整具購入補助            医療用ウィッグ購入費補助：28件 814,000円            乳房補整具購入費：17件 287,000円</p>
	<成果や課題>	<p>●がん検診への受診を促し、がんの予防と早期発見を図って市民の健康寿命の延伸に貢献することができた。            ●新規事業のがん患者支援補助は、患者のニーズを見極めながら適切に実施する。            【課題】未受診者への受診を促すため、個別再勧奨通知の工夫やSNSを活用した周知方法の見直しが必要である。</p>
	<所管部署による事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>
	<今後の取組方針>	<p>▶現在の実施内容と費用の中で、勧奨通知方法の改善や周知方法の見直しをしつつ事業を進めていく。</p>

施策名	10 高齢者福祉の充実	主担当課	高齢福祉課
施策の将来像	高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、生きがいを持って、自立した日常生活を営むことができます。		

目標指標の達成状況		No.	指標名 (単位)	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
1	高齢者における高齢者福祉に対する満足度 (%)	目標値		—	22	—	25	—
		実績値		—				
2	生涯学習活動等を行っている高齢者の割合 (%)	目標値		—	30	—	35	—
		実績値		—				
3	ほっとホーム利用者数 (人)	目標値		3,360	5,040	6,048	6,048	6,048
		実績値		3,068				
4	認知症サポーター養成講座参加者数 (累計) (人)	目標値		8,811	8,931	9,051	9,171	9,291
		実績値		9,123				
5	高齢者福祉に対する満足度 (%)	目標値		—	25	—	26	—
		実績値		—				

施策を構成する 主な事業の実施状況		No.	項目	内容
30	事業名			<b>在宅高齢者支援事業費</b>
	<実施内容>			生きがい活動支援通所事業 (ほっとホーム) : 7か所で計875日開設 生きがい支援事業 (ほっとサロン) : 86か所に委託 寝たきり老人等紙オムツ給付事業 : 交付者数1,930人 在宅要介護高齢者介護手当 : 延べ支給者数460人
	<成果や課題>			●コロナ禍により、ほっとホームやほっとサロンで一部事業が予定通り実施できなかったが、高齢者と地域住民が触れ合う場として活用してもらうことができた。 ●紙オムツ引換券やはり・きゅう・マッサージ助成券などの対象者等について見直しを行った。 ●フレイル予防、健康寿命の延伸のため、令和5年度から新たに補聴器購入費助成制度を創設した。 【課題】急速に進む高齢化に対応するため、引き続き既存事業の見直しが必要である。
	<所管部署による事業の評価>			<b>C : 大幅な見直しを検討する</b>
	<今後の取組方針>			▶令和4年度に引き続き、令和5年度も事業の対象者や内容等の見直しを行う。

31	事業名	<b>包括的支援事業費</b>
	<実施内容>	認知症サポーター養成講座：15回、322人参加 地域包括支援センター相談件数：8,612件
	<成果や課題>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域包括支援センターは高齢者の身近な相談機関として、地域に根付いており、自治会や民生委員等との連携も図られている。</li> <li>● 地域包括ケアシステムの推進には、行政や介護保険事業所、医療機関だけでなく住民や民間事業所の参画が重要であるため、民間事業所と協働する事業を拡充する。</li> <li>● 認知症サポーター養成講座受講者のステップアップ講座を実施し、認知症の人や家族に対する支援を行う「チームオレンジ」の設置を進めていく。</li> </ul> <p>【課題】住民主体の生活支援については、地域により取組みに差があるため、遅れがある地域には重点的に支援していく必要がある。</p>
	<所管部署による事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>
	<今後の取組方針>	地域包括支援センターの運営について、計画どおり進める。
32	事業名	<b>介護保険事務費</b>
	<実施内容>	令和4年6月1日から7月29日まで、鹿沼市老人保健福祉施設整備法人募集を行ったが応募がなかった。
	<成果や課題>	【課題】コロナ禍により介護サービスの利用が減ったため、法人の経営体力の低下がみられるが、高齢者人口の増加に備え対応が必要である。
	<所管部署による事業の評価>	<b>B：事業の進め方を改善・検討する</b>
	<今後の取組方針>	▶コロナ禍のため法人の経営体力との兼ね合いもあり、情勢を見極めつつ事業を行っていく必要がある。

施策名	11 障がい者福祉の充実	主担当課	障がい福祉課
施策の将来像	障がいのある人が、住み慣れた地域の中で自立し、安心した生活を送ることができる地域社会になっています。		

目標指標の達成状況

No.	指標名 (単位)		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
1	訪問系サービスの利用人数 (月平均) (人)	目 標 値	141	141	145	150	155
		実 績 値	140				
2	日中活動系サービスの利用人数 (月平均) (人)	目 標 値	793	822	850	870	885
		実 績 値	751				
3	計画相談支援サービスの利用人数 (月平均) (人)	目 標 値	165	170	175	180	185
		実 績 値	205				
4	障がい児通所支援サービスの利用人数 (月平均) (人)	目 標 値	351	356	360	365	370
		実 績 値	407				
5	障がい児相談支援サービスの利用人数 (月平均) (人)	目 標 値	72	74	83	85	80
		実 績 値	92				

施策を構成する  
主な事業の実施状況

No.	項目	内容
33	事業名	<b>障がい者自立支援事業費</b>
	<実施内容>	障害者総合支援法に基づく自立の支援：20,612件 自立支援給付：20,428件 2,078,773,690円 自立支援医療（育成医療・更生医療）：7,325件 152,249,196円 補装具費給付：184件 16,878,812円 訪問系サービス 居宅介護：年間1,519人、短期入所：年間417人 日中活動系サービス 生活介護：年間4,331人、就労継続支援A型：年間1,811人
	<成果や課題>	【課題】自立支援給付サービスを利用するための計画相談を担当する相談支援専門員が不足しており、特に障がい児の相談支援専門員の確保が困難である。 【課題】指定難病数は減少したものの、自立支援医療費や特定疾患福祉手当等の増加が見込まれる。 【課題】重症心身障がい児を支援する児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所が市内にないため、市外の事業所を利用せざるを得ない。
	<所管部署による事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>
	<今後の取組方針>	▶個人の多様なニーズに対応する自立支援体制の整備やサービス基盤の量的・質的な充実を計画的に推進し、障がいの有無にかかわらず安心して暮らせる地域社会の実現に向けた各種サービスの提供に努める。

34	事業名	<b>地域生活支援事業費</b>
	<実施内容>	地域生活支援事業による障がい福祉サービスの充実 相談支援 8,202件、日中一時支援 7,049件、意思疎通支援 304件、日常生活用具 給付等 1,500件 障がい児者基幹相談支援センターの充実 社会参加支援 31人、福祉タクシー料金助成 881人
	<成果や課題>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新型コロナウイルス感染症対策のため、実施を中止した事業が多かったが、手話通訳奉仕員養成講座や要約筆記者養成入門講座等は、感染対策をしながら開催できた。</li> <li>●R4年4月から障がい児者基幹相談支援センターを設置し、障がいのある方やその家族からの多様化する相談に専門的知識を有した5名の職員が対応し、新規相談を151件受け付けた。</li> </ul> <p>【課題】福祉サービス等の利用については、委託先事業所の確保等に課題がある。</p>
	<所管部署による事業の評価>	<b>B：事業の進め方を改善・検討する</b>
<今後の取組方針>	▶障がい児者基幹相談支援センターの充実を図り、地域における課題の解決に向けた取組や権利擁護など、障がいの有無にかかわらず安心して暮らせる地域社会の実現に向けた取組みを推進していく。	

施策名	12 社会保障の確保	主担当課	保険年金課
施策の将来像	市民一人ひとりが健康であり、安心して自立した生活を送ることができるまちが形成されています。		

目標指標の達成状況

No.	指標名 (単位)		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
1	特定健診受診率 (%)	目 標 値	31	33	35	37	39
		実 績 値	35.2				
2	収入の増加による生活保護廃止率 (%)	目 標 値	16	18	18	20	20
		実 績 値	18.9				
3	生活困窮相談の支援プラン策定率 (%)	目 標 値	12	15	15	20	20
		実 績 値	24.3				
4	糖尿病重症化予防プログラムへの参加者数 (人)	目 標 値	11	12	13	14	15
		実 績 値	11				

施策を構成する  
主な事業の実施状況

No.	項目	内容
	事業名	<b>国保健康づくり事業費</b>
	<実施内容>	<p>特定健診受診者（5/25現在資格喪失等含む）5,744人、うち実施率の評価対象者となる特定健診受診者5,196人（7月末時点）、特定健康診査対象者数14,730人 A Iによる特定健診未受診者に対する受診勧奨通知：年4回実施、合計20,310通送付、うち勧奨後受診者2,015件</p> <p>糖尿病腎症重症化予防保健指導：フォローアップを含め11人実施 糖尿病の治療中断及び異常値放置者への訪問指導：21件実施 糖尿病腎症重症化予防に関する国保セミナー：参加者33人</p>
35	<成果や課題>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 特定健診の受診率は目標値31%に対し、35%が受診した。</li> <li>● 被保険者の健康状態の把握と、国保データベースシステムを活用した効率的・効果的な健康支援のため、受診率向上に努める必要がある。</li> </ul> <p>【課題】糖尿病腎症から人工透析への移行を防ぐことは医療費の適正化、被保険者のQ O Lを維持するためにも重要であるため、糖尿病を重症化させないよう未治療者や治療中断者を医療に結び付けるとともに、腎症予防の正しい知識を指導し、普及していくことが必要である。</p>
	<所管部署による事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>
	<今後の取組方針>	▶ 特定健康診査の受診率の向上及び糖尿病重症化予防事業について、計画通り進めていく。

36	事業名	後期高齢者医療事業費
	<実施内容>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 後期高齢者の健康増進・フレイル予防に努める新たな仕組み「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業」を栃木県後期高齢者医療広域連合からの委託事業として新規に実施した。</li> <li>● 加蘇地区と東部台地区の2圏域の通いの場で健康・栄養・運動・口腔衛生に関するフレイル予防の健康教育を各4回実施し、参加者延べ136人であった。保健師、看護師、運動指導士、管理栄養士、歯科衛生士等の専門職が事業に携わり、初回と最終日に、身体計測や後期高齢者の質問票を用いてフレイル予防教室の評価を行った。</li> </ul>
	<成果や課題>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 元気アップ教室やほっとホームなど高齢者の通いの場で健康教育・健康相談等を実施したことで、多くの高齢者が参加できた。</li> </ul> <p>【課題】実施した2圏域で継続していくための支援方法や、フレイル予防教室の効果を検証する方法を検討する必要がある。</p>
	<所管部署による事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>
<今後の取組方針>	今後も計画通り進めていく。	
37	事業名	生活保護運営対策事業費
	<実施内容>	<p>生活相談・支援センターのぞみ  新規相談受付件数：197件 支援プラン作成件数：48件  住居確保給付金 給付世帯数：24世帯 支給月数：101月  子どもの学習・生活支援事業・学習支援事業利用者緊急経済対策支援  開催場所：市民情報センター、東部台・南摩・菊沢コミュニティセンター  開催数：192回 参加児童生徒数：延2,785人  生活困窮者自立支援金 給付世帯数：108世帯 支給月数：266月  県物価高騰対策生活困窮者自立支援金 給付世帯数：39世帯  生活再建応援事業 給付世帯数：67世帯</p>
	<成果や課題>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生計や就労等の生活に関する相談窓口である「生活相談・支援センターのぞみ」では、生活保護に至る前の第2のセーフティネット機能として、生活困窮に関する各種相談に個別に応じ、寄り添いながら自立に向けて支援を実施した。</li> <li>● 今後も複合的な課題を抱える生活困窮者等への包括的支援が行えるよう関係機関との一層の連携強化を図っていく。</li> </ul>
	<所管部署による事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>
<今後の取組方針>	▶コロナ禍も落ち着きを取り戻しつつあり、生活困窮支援として、アウトリーチ活動も含めた支援の幅を広げていく。	

施策名	13 雇用の創出と働く環境づくり	主担当課	産業誘致推進室
施策の将来像	市内での雇用機会が拡大するとともに、ライフスタイルなどに応じて安心して働き続けられる環境が整っています。		

目標指標の達成状況

No.	指標名 (単位)		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
1	就業意欲のある人が就業することができている割合 (%)	目 標 値	—	78.4	—	80.0	—
		実 績 値	—				
2	仕事にやりがいを感じている市民の割合 (%)	目 標 値	—	68.0	—	70.0	—
		実 績 値	—				
3	有効求人倍率 (倍)	目 標 値	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30
		実 績 値	1.36				
4	企業の誘致数 (件)	目 標 値	4	7	8	9	10
		実 績 値	3				
5	誘致した企業の雇用者数 (累計) (人)	目 標 値	10	20	360	700	710
		実 績 値	10				

施策を構成する  
主な事業の実施状況

No.	項目	内容
38	事業名	<b>企業誘致推進費</b>
	<実施内容>	栃木県企業立地促進協議会との連携を図り、企業誘致を推進 工場用地情報提供システム「空き工場バンク」の活用 補助金交付等による企業誘致・立地の促進及び定着化 12件 104,542千円 立地意向のある企業の把握、訪問活動の実施。 鹿沼インター産業団地の第1期予約分譲を実施し、2社と予約協定を締結。当初3区画を分譲予定であったが、1, 2街区を統合し、2区画の分譲とした。
	<成果や課題>	●鹿沼インター産業団地の事業が予定どおり進捗していることから、第1期予約分譲を行い、2社と予約協定を締結した。 ●R4年度の空き工場バンク新規登録件数 2件 【課題】工場適地が不足する状況であることから、鹿沼インター産業団地の2期目の早期分譲を目指すと共に、今後も企業誘致可能な民有地の情報収集に努める。
	<所管部署による事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>
	<今後の取組方針>	▶工場適地が不足する状況であることから、鹿沼インター産業団地の2期目の早期分譲を目指すと共に、今後は企業誘致可能な民有地の情報収集に努める。また、新たな産業団地創出の検討も併せて行う。

39	事業名	<b>新産業団地整備事業費</b>
	<実施内容>	<p>県企業局と連携し、鹿沼インター産業団地の整備推進  権利者対応業務  関係行政機関調整業務  用地買収を推進し、事業区域を確定。  造成工事（立木伐採、調整池、道路築造）  第1期予約分譲（1, 2街区）を行い、2社と予約協定を締結。</p>
	<成果や課題>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●鹿沼インター産業団地における用地買収を推進し、事業区域を確定した。</li> <li>●造成工事については、概ねスケジュールどおりに進捗しており、第1期予約分譲（1, 2街区）を行った結果、複数の企業から申し込みがあり、企業誘致選定委員会にて2社を内定。令和5年2月に予約協定を締結した。</li> </ul> <p>【課題】工場適地が不足しているため、次期産業団地について検討を進める必要がある。</p>
	<所管部署による事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>
<今後の取組方針>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶鹿沼インター産業団地においては、引き続き早期完了及び分譲を目指し、事業主体である県企業局と連携して事業を推進していく。</li> <li>▶次期産業団地について、事業手法等も含め検討を行う。</li> </ul>	
40	事業名	<b>雇用対策費</b>
	<実施内容>	<p>「鹿沼市雇用・移住・定住促進協議会」に基づく事業  鹿沼市商工業優良従業員表彰式・鹿沼市技能表彰式業務  労働基準協会団体運営補助  中小企業退職金共済制度加入促進事業補助金：53件 1,452,000円</p>
	<成果や課題>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●合同企業説明会やミニ面接会など企業の求人と求職者のマッチング、広報かめまへの「企業図鑑」の掲載、CSR等市内優良企業のPR等により、市内企業の就業に一定の効果を生むことができたが、成果指標については、事業の効果と対象者ニーズを踏まえた見直しが必要である。</li> <li>●鹿沼市商工業優良従業員表彰・鹿沼市技能表彰については、式典出席率の低下などニーズの変化や、定着よりも労働移動の円滑化などを推進する社会的な雇用形態の変化もあることから、事業を一時休止することとした。</li> </ul> <p>【課題】今後懸念される働き手不足に対し、就業環境の向上や業務効率化を推進することを目的として、企業のDXに向けた調査研究や研修の実施などの検討も必要である。</p>
	<所管部署による事業の評価>	<b>B：事業の進め方を改善・検討する</b>
<今後の取組方針>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶求人、求職の状況を踏まえ、企業者、就職希望者のニーズを把握しながら、情勢に応じた的確な実施方法を検討し、計画どおり事業を進める。合同企業説明会は、新卒者の就業支援と優秀な人材確保に向け、開催時期の見直しを検討する。</li> <li>▶事業のスクラップ&amp;ビルドにより効果的な事業を展開していく。表彰事業を一時休止し、DXセミナーの開催を検討する。</li> </ul>	

施策名	14 地域と連携した商工業の振興	主担当課	産業振興課
施策の将来像	市内企業の持続的成長と活発な新規創業が進み、地域経済が活性化しています。		

目標指標の達成状況		No.	指標名 (単位)	R4	R5	R6	R7	R8
1	商業従業者数 (人)	目標値	6,694	6,727	6,760	6,793	6,826	
		実績値	—					
2	創業者数 (累計) (人)	目標値	21	42	63	84	105	
		実績値	28					
3	工業従業者数 (人)	目標値	14,343	14,450	14,558	14,777	14,887	
		実績値	—					
4	製造品出荷額等 (万円)	目標値	44,920,474	45,621,233	46,332,924	47,055,717	47,789,786	
		実績値	—					

施策を構成する 主な事業の実施状況		No.	項目	内容
41	事業名	<b>工業振興推進事業費</b>		
	<実施内容>	鹿沼市デジタルビジネス推進事業補助金：11件 5,115,000円 展示会出展支援事業補助金：2件 600,000円 販路拡張支援事業補助金：4件 750,000円 企業の個社支援：20社		
	<成果や課題>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●令和3年度から実施しているデジタルビジネス推進事業補助金については、順調に活用され、各事業者の業務改善、生産性・販売力向上に寄与している。</li> <li>●展示会についてはコロナ禍において機会が減っていたが、令和5年度以降展示会出展の機会が増えることが見込まれるため、動向を注視したい。</li> <li>●事業全体の方向性としては計画どおりに事業を進めて問題ないと捉えているが、一部補助金が一部団体の利用に留まっているため、再検討の余地がある。</li> </ul>		
	<所管部署による事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>		
<今後の取組方針>	▶計画どおりに事業を進めるが、令和6年度予算に向けて、必要に応じて補助金の見直しを図る。			

	事業名	<b>商業振興推進事業費</b>
	<実施内容>	空き店舗等活用新規出店支援事業：22件 3,278,000円 個店整備事業：14件 2,439,000円 販売促進等共同経済事業：6件 1,276,000円 地域産業振興販売促進支援事業（プレミアム付き商品券発行支援）：発行額 559,000,000円（市補助額：147,656,300円） 地域商店会等運営支援事業補助金：8件 37,000円
42	<成果や課題>	●令和4年度は、コロナ禍で売上げが低迷している商業者に対する支援策としてプレミアム商品券発行に対する支援をはじめ、創業者に対する支援として空き店舗活用や個店整備に係る補助を実施した。 【課題】今後、まちなか交流プラザ内にあるチャレンジショップの見直しに合わせ、まちなかの商業活性化を図るため、各種補助金の見直しを検討する必要がある。
	<所管部署による事業の評価>	<b>B：事業の進め方を改善・検討する</b>
	<今後の取組方針>	▶令和6年度予算に向けて、補助金の見直しを図る。

施策名	15 資源を活かした「選ばれるまち」の創造	主担当課	観光交流課
施策の将来像	自然環境と人々の営みが彩る日常に市民が誇りや愛着をもち、その発信によって、来訪者に選ばれるまちになっています。		

目標指標の達成状況

No.	指標名 (単位)	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	
1	観光客入込客数 (千人)	目 標 値	1,970	2,009	2,049	2,090	2,132
		実 績 値	2,603				
2	来訪者満足度 (%)	目 標 値	72.5	75.0	77.5	80.0	82.5
		実 績 値	—				
3	観光協会ウェブサイトへのアクセス数 (回)	目 標 値	603,426	633,597	665,277	698,541	733,468
		実 績 値	1,260,097				

施策を構成する  
主な事業の実施状況

No.	項目	内容
43	事業名	<b>観光物産ピーアール事業費</b>
	<実施内容>	<p>観光協会事業支援 観光振興の中心団体である観光協会の活動を補助：25,044千円</p> <p>観光パンフレット作成事業 「鹿沼おもてなしガイド」「鹿沼エクスプローラ」、登山ガイド「山歩道」の増刷：1,242千円</p> <p>観光アシスタントによる出店PR事業 観光アシスタント事業委託：350千円、研修会実施、各種イベントへの参加</p> <p>フィルムコミッション事業 「鹿沼フィルムコミッション」の運営、旧粟野中学校の維持管理、ショートフィルム制作等</p> <p>県等広域連携観光事業 県観光プロモーション協議会をはじめ、県や関係都市との連携事業を展開した。</p>
	<成果や課題>	<p>●コロナ禍の数年間、各地のイベントが中止となりP Rの機会が失われる中、人びとの観光マインドが「アウトドア志向」に傾いたことにより、P R対象を「山場」の観光にシフトしP Rを展開してきた。</p> <p>【課題】アフターコロナとなる今後、あらゆるコンテンツが復活していくことになる。「平場」の観光コンテンツを磨き上げ、P Rに注力するとともに、新たな観光資源の発掘や活用が課題となる。</p> <p>【課題】観光協会の組織や機能を再確認し、今後の方針を検討する必要がある。</p>
	<所管部署による事業の評価>	<b>B：事業の進め方を改善・検討する</b>
	<今後の取組方針>	<p>▶ P R手法の研究によるイベント出展中心のP Rからの脱却</p> <p>▶ フィルムコミッション事業の効率化</p> <p>▶ 観光協会の方向性の確認</p>

44	事業名	<b>前日光ハイランドロッジ維持管理費</b>
	<実施内容>	前日光ハイランドロッジを拠点としたPR活動（来訪者、問い合わせ対応） 前日光ハイランドロッジへの宿泊、入浴、飲食提供 宿泊91人、来場59,712人 井戸湿原自然観察会の開催（春,秋年2回） 自然観察会参加実績：R4春77名、秋48名 合計125名
	<成果や課題>	●年2回開催している自然観察会は市内外から多くの参加があり、リピーターも多い。参加者自身が魅力を感じ発信することで、次回の観察会に知人も連れて参加するなどの成果がみられる。 【課題】施設の経年劣化が進んでいるため、効果的な修繕の計画を検討する必要がある。 【課題】持続可能な施設管理・運営のための人員確保が必要である。
	<所管部署による事業の評価>	<b>B：事業の進め方を改善・検討する</b>
	<今後の取組方針>	▶施設の計画的な修繕 ▶前日光県立自然公園PRに関する効果的な情報発信 ▶管理運営体制の強化
45	事業名	<b>水源地域振興拠点整備事業費</b>
	<実施内容>	用地取得（物件移転補償含む）：52,156.97㎡（18人及び国）：179,155千円 敷地造成工事：87,000千円（前払金） 温泉動力装置設置申請 PRイベント：出会の森で1回開催 来場者数 6組20人 農村レストランの運営（地元団体）研修支援 農産物加工所の運営（地元団体）研修及び法令改正研修支援：研修4回実施
	<成果や課題>	●R6の春オープンに向けて、用地取得、実施設計、工事発注等を順調に進めてきた。 【課題】施設のオープンに向け、地域の意見を尊重しつつ、集客力を高める取組を検討する必要がある。
	<所管部署による事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>
	<今後の取組方針>	▶ソフト面に関して、施設の魅力向上への取組はもちろん、市と地域住民と企業（指定管理予定者）で意見交換を行いながら、協働の意識向上を図る。

施策名	16 戦略的農業の推進	主担当課	農政課
施策の将来像	農業の担い手が確保され、多彩で高収益な農業が展開されています。		

目標指標の達成状況			R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
No.	指標名 (単位)						
1	耕作放棄地解消面積 (累計) (ha)	目 標 値	3.6	7.2	10.8	14.4	18.0
		実 績 値	2.0				
2	新規就農者数(雇用就農含む)(累 計) (人)	目 標 値	15	30	45	60	75
		実 績 値	14				
3	農業産出額 (千万円)	目 標 値	1,425	1,437	1,449	1,461	1,473
		実 績 値	1,159				
4	担い手への農地集積率 (%)	目 標 値	47.4	48.4	49.4	50.4	51.4
		実 績 値	48.0				

施策を構成する 主な事業の実施状況		
No.	項目	内容
46	事業名	<b>首都圏農業確立対策事業費</b>
	<実施内容>	用地取得 (物件移転補償含む) :52,156.97㎡ (18人及び国) :179,155千円 敷地造成工事:87,000千円(前払金) 温泉動力装置設置申請 PRイベント: 出合いの森で1回開催 来場者数 6組20人 農村レストランの運営 (地元団体) 研修支援 農産物加工所の運営 (地元団体) 研修及び法令改正研修支援: 研修4回実施
	<成果や課題>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県単補助金の園芸大国とちぎづくりフル加速推進事業の活用を支援することで、にらの作付面積拡大に貢献することができた。</li> <li>● いちごに関しては、品種を「とちおとめ」から収穫量の多い「とちあいか」へと転換している時期であり、収穫量に比例して作業量の増加が見込まれるため、当面の作付面積については横ばいが続くと思われる。</li> </ul>
	<所管部署による 事業の評価>	<b>A : 計画どおりに事業を進める</b>
	<今後の取組方針>	▶ 今後も計画通り、基幹作物の振興を支援する。

47	事業名	<b>農作物活性化推進事業費</b>
	<実施内容>	経営近代化のための農業用機械又は設備整備支援：2団体 24,159千円 市場性の高い基幹作物の生産振興のための支援：5団体 7,750千円 マカ栽培面積の現状維持、板荷人参（朝鮮人参）の栽培方法の確立と種を増やすための調査委託 減農薬・減化学肥料による農作物作りの支援：3団体 1,314千円 廃ビニール類適正処理の支援：1団体 2,500千円
	<成果や課題>	●農業の作業効率向上のため、共同利用機械導入の支援は順調である。 【課題】スマート農業への関心の高まりから、令和3年度以降、農業用ドローンが急速に普及したことにより、ラジコンヘリコプターによる共同防除面積の縮小が予想される。
	<今後の取組方針>	▶共同利用機械導入支援は、要望が高く、今後も計画どおり支援を継続する。 ▶共同防除については、今後見直しを検討する。
48	事業名	<b>新規就農促進総合支援事業費</b>
	<実施内容>	農業次世代人材投資事業（経営開始型） 14件 20,290,685円 新規就農者育成総合対策（経営開始資金） 4件 7,875,000円 新規就農者育成総合対策（経営発展支援事業） 3件 13,461,000円 就農用施設導入支援 3件 7,456,000円 定着支援事業費補助金（臨時交付金事業） 2件 1,967,000円 新規就農者支援対策協議会負担金（研修運営、栽培体験の実施など） 50,000円 研修制度PR（チラシ・ポスター作成、就農相談会への参加、など）
	<成果や課題>	●新規就農者の確保のみならず、移住定住にも貢献した。 【課題】研修制度や補助事業の対象とならない新規就農希望者への支援策を検討する必要がある。
	<今後の取組方針>	▶移住支援の拡充を図る。 ▶新規就農希望者がスムーズに就農できるよう、今後も関係機関と連携しながら新規就農者の確保に努め、積極的支援により営農定着を目指す。

施策名	17 持続可能な森林経営と木材の循環利用	主担当課	林政課
施策の将来像	生産基盤の整備や担い手の確保により経営の安定化が図られ、活力あふれる林業が将来にわたり継続できるまちになっています。		

目標指標の達成状況

No.	指標名 (単位)		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
1	森林管理意向調査実施面積 (ha)	目 標 値	1,820	2,420	3,020	3,620	4,220
		実 績 値	1,677				
2	木材受託生産量 (m³)	目 標 値	60,000	65,000	69,000	74,000	76,000
		実 績 値	56,577				
3	林業事業体の当期純利益 (千円)	目 標 値	31,100	32,300	33,500	34,600	35,700
		実 績 値	99,811				
4	林業事業体の職員数 (人)	目 標 値	87	88	89	90	91
		実 績 値	89				
5	野生鳥獣による農業被害額 (千円)	目 標 値	9,500	9,025	8,575	8,150	7,750
		実 績 値	4,071				

施策を構成する  
主な事業の実施状況

No.	項目	内容
49	事業名	<b>森林経営管理事業費</b>
	<実施内容>	意向調査委託：545.68ha 集積計画作成委託：80.91ha 担い手育成補助金：11件 1,150千円 住宅新築等報奨金：28件 5,250千円 木製品作製：机椅子、ベンチ、新生児用他 10,200千円
	<成果や課題>	●森林認証材の需要拡大、子ども達への木育、森林や木材、木の普及に関する施策等については、譲与税の意義に基づいて適切に事業を実施してきた。 【課題】森林経営管理事業については、当初の計画段階に比べて整備がなかなか進んでいない状況にあり、より効率的な手法を検討しながら事業の見直しを進める必要がある。
	<所管部署による事業の評価>	<b>C：大幅な見直しを検討する</b>
	<今後の取組方針>	▶森林経営管理事業については、効率的な手法を検討しながら見直しを進めていく。具体的には、意向調査業務の市自前での実施、民間企業と森林組合の役割分担明確化による森林整備の加速化といった点について、市が主導で事業の進め方を見直していく。

50	事業名	<b>林道施設整備事業</b>
	<実施内容>	林道栗沢線開設工事 工事発注延長L=120m 林道室瀬線改良工事 工事発注延長L=480m 1箇所 林道寄栗線舗装工事 工事発注延長L=263m 1箇所 林道横平線法面改良工事 1箇所（繰越事業） 林道小川沢線法面改良工事 1箇所（繰越事業）
	<成果や課題>	【課題】林道栗沢線の新設工事を発注し林道新設事業を進めているが、目標値460mに対し120mの実績であり、遅れが出ている。 ●林道室瀬線の改良工事については、地元住民との連携を図りながら計画通り進んでいる。 ●寄栗線舗装工事を行うことにより、森林や民家への通行の機能性の向上に寄与できた。
	<所管部署による事業の評価>	<b>B：事業の進め方を改善・検討する</b>
	<今後の取組方針>	▶林道新設事業については、工事施工延長が目標値に届いていないため、今後の実施延長を増大させる必要がある。 ▶林道改良事業については、今後も地元住民との調整を行いながら計画通り進めていく。
51	事業名	<b>野生鳥獣対策事業</b>
	<実施内容>	被害の多いイノシシ、シカ、サルの駆除に対する捕獲報奨金の支給：2,349件 34,907,800円 防護柵設置の補助：19件 1,830,000円 イノシシ等のワナを購入し、有害捕獲実施者への貸し出し ニホンジカの個体数調整の実施 鹿沼市野生鳥獣対策協議会の支援 鹿沼市鳥獣被害対策実施隊の活用
	<成果や課題>	●概ね計画どおりであるが、今後地域が主体となって対策を行う必要がある。 【課題】狩猟者の高齢化が深刻化しており、農業公社や県、警察など関係機関との連携し、新規狩猟者の確保に取り組む必要がある。
	<所管部署による事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>
	<今後の取組方針>	▶捕獲報奨金や防護柵補助金の実施が、農業被害額の軽減に寄与していることから、引き続き計画どおり取り組む。

施策名	<b>18 環境に優しい持続可能なまちをつくる</b>	主担当課	環境課
施策の将来像	市民・事業者・行政等の各主体が、環境問題・気候変動問題を自分事として捉え、環境に配慮した行動をすることで、環境負荷の少ない持続可能なまちづくりが進んでいます。		

目標指標の達成状況							
No.	指標名 (単位)		R4	R5	R6	R7	R8
1	二酸化炭素排出量の削減率 (%)	目 標 値	24.0	26.8	29.5	32.3	35.0
		実 績 値	18.0				
2	再生可能エネルギー設備導入支援 (件)	目 標 値	3,120	3,270	3,420	3,570	3,720
		実 績 値	3,085				
3	公共施設への再生可能エネルギー設備の導入 (カ所)	目 標 値	7	7	7	8	8
		実 績 値	8				
4	環境基準達成 (%)	目 標 値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		実 績 値	96.7				

施策を構成する 主な事業の実施状況		
No.	項目	内容
52	事業名	<b>環境都市推進事業費</b>
	<実施内容>	<p>鹿沼市家庭用低炭素化促進設備導入報奨金の支給</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支給総件数111件（太陽光発電設備33、蓄電池66、ZEH12）</li> <li>・支給総額5,430,000円（太陽光発電設備99万円、蓄電池264万円、180万円）</li> </ul> <p>省エネエアコン定額利用制度の実施</p> <p>設置件数 175台（申請件数254件）</p> <p>環境学習講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休み特別講座3回開催（キャンドル2回、生きもの観察会1回）</li> <li>・地域環境学習講座1回開催（内容：キャンドル、バス乗り方、座学）</li> <li>・環境学習基本講座2回開催（施設見学会1回、地球温暖化講義1回）</li> </ul>
	<成果や課題>	<p>【課題】市民等による再生可能エネルギー設備導入の推進は、補助制度以外に効果的な施策がないが財源確保が困難である。</p> <p>【課題】事業者としての本市の二酸化炭素排出量削減に係る取組が弱いため、ハード面での対応が必要である。</p> <p>【課題】政策形成系の業務が増加する一方、従前から実施しているイベント、講習会等の業務が削減できず人員不足が予想される。</p> <p>【課題】本市として環境政策をどう位置付けるか定まっておらず、現在の組織、人員等を超えた企画立案が困難である。</p> <p>【課題】本市として自然環境を所管する部署が存在しないため、将来的な施策展開に支障をきたす可能性がある。</p>
	<所管部署による事業の評価>	<b>B：事業の進め方を改善・検討する</b>
	<今後の取組方針>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 地方創生臨時交付金、補助金等を活用し、市民への支援を行う。</li> <li>▶ 光熱水費等の高騰を好機と捉え、採算性を念頭に、公共施設における省エネ及び創エネに係る施策を実施する。</li> <li>▶ 講習会開催ノウハウの他部署への輸出を進め、政策形成業務への資源配分を強化する。</li> </ul>

施策名	19 3Rの推進と循環型社会の形成	主担当課	廃棄物対策課
施策の将来像	市民や事業所の環境意識が高まり、ごみの発生抑制や再生利用を推進することにより、循環型社会の形成が進んでいます。		

目標指標の達成状況							
No.	指標名 (単位)		R4	R5	R6	R7	R8
1	3R (リサイクル、リデュース、リユース) を実践している市民の割合 (%)	目標値	—	71	—	73	—
		実績値	—				
2	一人一日当たりのごみの排出量 (g)	目標値	914	912	910	900	880
		実績値	700				
3	リサイクル率 (%)	目標値	14.0	14.0	15.0	15.0	15.4
		実績値	13.1				

施策を構成する 主な事業の実施状況		
No.	項目	内容
53	事業名	<b>ごみ収集費</b>
	<実施内容>	家庭系搬入ごみの有料化 祝日収集の拡充 ごみ分別区分の見直し ごみステーションの収集区分・体制強化 市民利用の日の見直し たべまるbyタバスケの試行運用 指定ごみ袋引換券の配付
	<成果や課題>	●持込ごみの有料化により、市民の負担の平準化を図ることができた。 【課題】ごみの分別区分について、さらなる周知が必要である。 【課題】収集体制については、収集回数など状況を分析しながら検討をしていく必要がある。
	<所管部署による事業の評価>	<b>A : 計画どおりに事業を進める</b>
	<今後の取組方針>	▶市民へ分別等について、引き続き周知を図っていく。 ▶市民の3Rに対する意識の向上を図る。

	事業名	ごみ処理施設整備事業費
	<実施内容>	粗大ごみ処理施設基幹的設備改良工事 屋外ストックヤード新築工事
54	<成果や課題>	【課題】各工事に関しては順調に推移しているが、今回の各種長寿命化の延命期間満了前に、残り7年となった焼却処理施設の延命期間が満了を迎える。廃棄物処理施設は、市民生活及び市政運営上、極めて重要な施設であることから、本事業終了後には全庁的な取り組みとして、次期計画を始動させる必要がある。
	<所管部署による事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>
	<今後の取組方針>	次期計画を検討する。

施策名	20 持続可能で暮らしやすい都市空間の形成	主担当課	都市計画課
施策の将来像	地域特性に応じた魅力や機能を備え、豊かな自然と都市機能のバランスのとれた、安全安心でコンパクトなまちが形成されています。		

目標指標の達成状況			R4	R5	R6	R7	R8
No.	指標名 (単位)						
1	都市機能誘導区域の誘導施設数 (件)	目標値	9	9	9	9	9
		実績値	9				
2	住宅の耐震化率 (建築指導課)	目標値	—	—	—	95	—
		実績値	—				
3	コンパクトシティプラスネットワークに対する理解度 (%)	目標値	—	13	—	17	—
		実績値	—				
4	食品や日用品の買い物を自動車を使わずに行う市民の割合 (%)	目標値	—	12.4	—	12.6	—
		実績値	—				
5	病院や診療所への定期的な通院を自動車を使わずに行う市民の割合 (%)	目標値	—	8.7	—	8.9	—
		実績値	—				

施策を構成する 主な事業の実施状況		
No.	項目	内容
55	事業名	<b>都市計画総務事務費</b>
	<実施内容>	防災指針の策定 URとの連携まちづくり
	<成果や課題>	●鹿沼市立地適正化計画の防災指針の策定は順調に進み、令和5年度中に公表できる見込み。『防災力強化プロジェクト』への成果が期待出来る。
	<所管部署による事業の評価>	<b>B：事業の進め方を改善・検討する</b>
	<今後の取組方針>	▶他部局との連携を図り、計画を進める。

56	事業名	<b>バス路線対策費</b>
	<実施内容>	<p>リーバス（12路線）、予約バス（4地域）、路線バス（不採算路線）に対する運行経費補助を実施</p> <p>鹿沼市地域公共交通計画に基づく事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーバス・予約バスの運賃体系改定を実施</li> <li>・鉄道などのダイヤ改正に伴うリーバス等の時刻見直しを実施</li> <li>・バスの乗り方教室を開催（小学校：5校、高齢者向け：1回、地域：1回）</li> </ul> <p>コロナウイルス感染症に関する各種事業の推進</p>
	<成果や課題>	<p>●地域公共交通計画に基づくリーバス・予約バスの運賃形態の改定の実施により、利用者における適正負担への改善および経営状況の改善を図ることができた。</p> <p>【課題】公共交通を利用しやすくするための施策（バスロケ、IC化など）や地域の状況に応じて、より効率的な交通機関の導入などを検討し、利便性の向上を図る必要がある。</p>
	<所管部署による事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>
	<今後の取組方針>	▶引き続き、鹿沼市地域公共交通計画に基づき、見直し効率化を進め、持続可能な公共交通を構築するため、各種取り組みを推進する。
57	事業名	<b>空家対策事業費</b>
	<実施内容>	<p>空き家調査と適正な監視、利活用相談：132件</p> <p>空家等解体補助金：33件 15,715,000円</p> <p>空き家バンクリフォーム補助金：2件 1,200,000円</p>
	<成果や課題>	<p>●老朽化した空家の解体は、解体補助があることにより、順調に進められた。空き家バンクについても利活用促進ができた。</p> <p>【課題】空家の実態調査を行うにあたり自治会からの情報提供をお願いしているが、自治会の一部の人に負担となっていることについて、協力者への手当の支給等を検討していく必要がある。</p> <p>【課題】生活困窮者が所有している老朽化した空家の解体促進と活用可能な空き家の空き家バンクへ登録へなど活用方法の提案等を検討していく必要がある。</p> <p>【課題】空き家所有者への空き家の適正管理の対応の連絡について、早急に連絡がとれるための方法を検討をしていく必要がある。</p>
	<所管部署による事業の評価>	<b>B：事業の進め方を改善・検討する</b>
	<今後の取組方針>	▶空家の調査方法と空き家になる前及び空き家となる期間の短縮への対応。

施策名	21 安全安心な水道水の供給	主担当課	水道課
施策の将来像	水道事業の安定的な経営、施設の適切な維持管理などにより、安全で安心な水道水を供給する体制が構築されています。		

目標指標の達成状況							
No.	指標名 (単位)		R4	R5	R6	R7	R8
1	有収率 (%)	目標値	79.0	79.3	79.6	79.9	80.0
		実績値	78.1				
2	管路の耐震化率 (%)	目標値	32.7	34.1	34.9	35.6	36.2
		実績値	33.0				
3	老朽管の更新 (km/年)	目標値	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
		実績値	3.83				
4	高度浄水施設の整備率 (%)	目標値	30.8	38.5	46.2	53.8	61.5
		実績値	31.0				

施策を構成する 主な事業の実施状況		
No.	項目	内容
58	事業名	<b>水道事業（配水設備改良事業）</b>
	<実施内容>	Φ150～Φ400までの老朽管の更新及び耐震化 L=3,826.4m 370,986,000円 第1浄水場機械棟建築工事、第5浄水場紫外線処理室建築工事 211,618,000円
	<成果や課題>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●計画通り順調に進捗しているが、2025年より老朽管（法定耐用年数40年）を超える配水管が増加することから、財源確保等を検討する必要がある。</li> <li>●紫外線処理施設等の整備は計画通り進んでいるが、電子部品の製造と供給が大幅に遅れていることから発注をできる限り早めていく必要がある。</li> </ul>
	<所管部署による事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>
	<今後の取組方針>	▶計画どおり進めていく。

59	事業名	水道事業（配水設備拡張事業）
	<実施内容>	Φ30～Φ150までの配水管新設 L=4,820.8m 148,986,000円 新規水道加入工事費の無利子貸付け 1件 500,000円
	<成果や課題>	●配水管新設は、計画的及び効率的に実施している。 【課題】新規加入においては、説明会、自治会長からの周知のほか別手法を検討する必要がある。
	<所管部署による事業の評価>	<b>B：事業の進め方を改善・検討する</b>
<今後の取組方針>	▶配水管新設は計画どおり進める。 ▶新規加入の手法を検討する。	

施策名	22 良質で安全安心な水循環施設の整備	主担当課	下水道課
施策の将来像	下水道事業の安定的な経営、施設の適切な維持管理などにより、安全安心な水循環環境、公衆衛生環境、大雨に強い環境が整っています。		

目標指標の達成状況							
No.	指標名 (単位)		R4	R5	R6	R7	R8
1	水洗化人口 (人)	目標値	57,854	57,317	56,787	55,921	54,995
		実績値	58,520				
2	雨水排水施設整備 (ha)	目標値	595	598	598	598	598
		実績値	623				
3	雨水排水施設整備 (千手排水区再整備) (%)	目標値	0.0	12.5	25.0	62.5	100.0
		実績値	2.0				
4	汚水処理施設再構築 (黒川終末処理場) (%)	目標値	7.0	25.0	39.0	39.0	47.0
		実績値	5.0				

施策を構成する 主な事業の実施状況		
No.	項目	内容
60	事業名	<b>下水道事業 (雨水対策事業)</b>
	<実施内容>	富士山雨水幹線整備 L = 442.5m <R3線越> 千手雨水第一幹線地質調査
	<成果や課題>	●雨水対策事業は、膨大な事業費を要するため、財源として国の補助金を確実に確保していく必要がある。 【課題】成果が出るまでには、長期にわたるため、自助、共助、公助による浸水被害軽減に向けた取組を進める必要がある。
	<所管部署による事業の評価>	<b>B : 事業の進め方を改善・検討する</b>
	<今後の取組方針>	▶内水ハザードマップを計画どおり、R 7までに策定・公表し、市民の水害時における速やかな避難行動に繋げる。 ▶ R 8には雨水管理総合計画を策定し、計画的かつ効率的に雨水対策整備を進める。

61	事業名	<b>下水道事業（下水道管渠長寿命化対策事業）</b>
	<実施内容>	不明水調査基本方針検討 A = 1,781ha «R3繰越» 総合地震対策計画策定 A = 1,715ha «R3繰越» 管路施設調査診断 L = 22,610m マンホール665基 «R3繰越» 公共下水道管路施設実施設計 L = 584.0m 公共下水道不明水調査 流量測定調査 10箇所
	<成果や課題>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●長期的な施設の状態を予測しながら、点検・調査・修繕・改築を一体的に捉えて下水道施設を計画的かつ効率的に管理することによって、維持管理のコスト縮減と平準化に繋がられる。</li> <li>●良好な下水道サービスを持続的に提供するためには、施設管理に必要な、費用、人員を投入するなど、アセットマネジメントが堅調。</li> <li>●不明水調査においては黒川処理区を対象に不明水の多い地区を特定させるため、15ブロックに分けて、下水道管内に流量計を設置し、解析を行った。成果として不明水の多い地区を絞り込めた。今後は更に詳細の絞り込みを行っていく。</li> </ul>
	<所管部署による事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>
	<今後の取組方針>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶管路施設調査診断はストックマネジメント計画に基づき実施していく。</li> <li>▶不明水対策については、不明水浸入箇所の特定努めるとともに、対策工事等の対策についても検討していく。</li> </ul>
62	事業名	<b>下水道事業（下水道処理施設長寿命化対策事業）</b>
	<実施内容>	公共下水道黒川終末処理場実施設計（監視制御設備等）«R3繰越»
	<成果や課題>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●下水道処理施設の再構築に向けて設計に着手したが、莫大な費用を要する事業であるため、事業の平準化を図りながら、確実に国や市の予算を確保する。</li> </ul>
	<所管部署による事業の評価>	<b>B：事業の進め方を改善・検討する</b>
	<今後の取組方針>	▶ストックマネジメント計画に基づき事業を進捗させる。

施策名	23 道路・河川・公園などの都市基盤の充実	主担当課	整備課
施策の将来像	道路・河川・公園といった都市基盤が充実した良質な居住空間により、安全・安心で賑わいのある街並みが創出されています。		

目標指標の達成状況							
No.	指標名 (単位)		R4	R5	R6	R7	R8
1	J R 鹿沼駅東側の整備進捗率 (%)	目 標 値	46.0	56.0	62.0	73.0	84.0
		実 績 値	42.0				
2	幹線市道の舗装改修総延長 (km)	目 標 値	3.0	6.0	9.0	12.0	15.0
		実 績 値	1.8				
3	東部高台地区の雨水排水対策の進捗率 (%)	目 標 値	20.0	45.0	70.0	90.0	100.0
		実 績 値	12.0				
4	橋梁長寿命化対策の実施橋梁数 (累計) (橋)	目 標 値	17	19	21	23	25
		実 績 値	17				

施策を構成する 主な事業の実施状況		
No.	項目	内容
63	事業名	<b>都市計画道路整備事業費</b>
	<実施内容>	鹿沼駅東通りの整備 (0344号線)
	<成果や課題>	● 駅東通りの整備により、安全安心な通行環境の充実に加え、JR鹿沼駅東側の居住促進等に寄与した。 【課題】駅東通り以外の事業展開
	<所管部署による事業の評価>	<b>B：事業の進め方を改善・検討する</b>
	<今後の取組方針>	▶ 駅東通りについては、令和6年度の開通に向け着実に事業を推進する。 ▶ 駅東口等については、JRとの協議を継続しつつ考え方を再整理する。

64	事業名	<b>道路整備事業費</b>
	<実施内容>	歩道の整備 (0029、0328、5047号線) 市道の整備 (0004、0020、0365、1007、1065、1270、3007、7020、7216、8014、8220号線)
	<成果や課題>	●歩道及び道路の整備により安全安心な通学環境が充実 【課題】安定した財源の確保
	<所管部署による事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>
	<今後の取組方針>	▶実施路線については、より有用な財源確保に努めつつ着実に事業を推進する。 ▶新規路線については、整備の目的や優先順位を見極め慎重に事業化を検討する。
65	事業名	<b>橋りょう長寿命化対策事業費</b>
	<実施内容>	橋りょう等点検 12,650,000円 拍子木橋補修設計 4,675,000円 新鹿沼橋橋りょう補修工事 25,100,000円
	<成果や課題>	●計画的に適切な点検を行うことで橋梁の劣化や損傷の健全度を把握でき、安全な道路交通の確保に寄与した。
	<所管部署による事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>
	<今後の取組方針>	事業内容を精査し、計画を進める。

施策名	24 様々な危機に対し生命と財産を守る防災力の強化	主担当課	危機管理課
施策の将来像	市民や地域の防災意識が高まり、様々な主体が協働することで防災力の高いまちとなっています。		

目標指標の達成状況							
No.	指標名 (単位)		R4	R5	R6	R7	R8
1	居住地域の避難所の認知度 (%)	目標値	—	86	—	90	—
		実績値	—				
2	自主防災組織の活動への参加率 (%)	目標値	—	17	—	20	—
		実績値	—				
3	自主防災会設立組織率 (%)	目標値	87.8	91.2	94.5	97.2	100.0
		実績値	93.9				
4	鹿沼市の防災士登録者数 (人)	目標値	220	270	320	370	420
		実績値	213				

施策を構成する 主な事業の実施状況		
No.	項目	内容
66	事業名	<b>防災対策推進費</b>
	<実施内容>	ハザードマップを更新し、全戸に配布した。 永野地区、板荷3区、板荷7区、板荷8区、板荷9区の5地区の自主防災会設立を支援。 令和5年1月28日・29日に防災士養成講座を行い、45名を養成（のべ213名）。
	<成果や課題>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自主防災会の設立については、組織率目標87.8%に対し、93.9%の実績であり、目標を上回るペースで進んでいる。</li> <li>●防災士の養成については、登録者目標220人に対して、213人とどまっている。</li> <li>●新庁舎整備に合わせて、災害情報共有システムを導入するなど災害対策のデジタル化を行った。</li> <li>●令和3年度に設立した鹿沼市総合治水対策協議会（協議会1回、幹事会2回、ワーキンググループ2回、庁内ワーキンググループ3回）を実施し、総合的な治水対策を推進した。</li> </ul>
	<所管部署による事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>
	<今後の取組方針>	計画どおり進める。

施策名	25 強固で持続可能な消防体制の確保	主担当課	消防総務課
施策の将来像	自助・共助・公助が機能し合い消防力が充実することで、市民の安全・安心が守られています。		

目標指標の達成状況							
No.	指標名 (単位)		R4	R5	R6	R7	R8
1	消防団の充足率 (%)	目標値	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
		実績値	96.6				
2	住宅用火災警報器設置率 (%)	目標値	80.0	80.5	81.0	81.5	82.0
		実績値	79.0				
3	救急車両の現場到達時間 (平均) (分)	目標値	9	9	9	9	9
		実績値	9				
4	救急救命講習受講者数 (人)	目標値	1,000	1,250	1,500	1,750	2,000
		実績値	746				
5	予防技術資格者取得人数 (人)	目標値	20	25	30	35	40
		実績値	15				

施策を構成する 主な事業の実施状況		
No.	項目	内容
67	事業名	<b>通信システム費</b>
	<実施内容>	多重無線免許更新は、令和4年6月に申請、同年12月に交付を受け、事業終了。 5市による消防指令センター共同運用の検討については、令和4年9月に5市（鹿沼市、足利市、佐野市、栃木市、日光市）による共同運用の検討が白紙となった。今後も調査研究は継続していく。
	<成果や課題>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多重無線の免許更新を実施したことで、迅速かつ的確な通信指令体制が確保された。</li> <li>● 高機能消防指令センター施設・機器修繕は、半導体物流不足等の影響を受けR5に繰越したが、強固で持続可能な消防体制を築くように取り組んでいく。</li> </ul> 【課題】5市による消防指令センター共同運用の検討については白紙となったが、消防指令センターの在り方については継続して検討するべきであり、今後、困難な財政状況が見込まれる中で消防指令センターの維持管理をしていくために、県内消防本部で共同運用の検討が必要である。
	<所管部署による事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>
<今後の取組方針>	▶ 指令センター共同運用や消防広域化については、国・県の主導が必要不可欠であり、積極的に協力を仰ぐ必要がある。効率的な消防指令センターの運用により消防指令業務を充実強化していきたい。	

68	事業名	<b>救急救助費</b>
	<実施内容>	<p>応急手当講習受講者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講習会開催 61回 ・受講者 746人</li> </ul> <p>装備品の充実・維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栗野分署高規格救急自動車更新 34,705,000円</li> <li>・水難用潜水資器材（アクアリング）2組購入 600,336円</li> <li>・応急手当講習用人形（4体パック）1組購入 166,716円</li> </ul>
	<成果や課題>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コロナ禍による感染防止対策のため講習会開催が困難な状況下ではあったが、受講者数の制限とeラーニング（事前学習）の導入により、効率的に講習会を開催することができ、市民からの受講希望のニーズに対応することができた。</li> <li>●継続して講習会を開催していくためにも、定期的な応急手当講習用人形を更新することにより、救命率（社会復帰）の向上に努める。</li> </ul>
	<所管部署による事業の評価>	<b>B：事業の進め方を改善・検討する</b>
<今後の取組方針>	心肺蘇生法ガイドラインの更新に伴い、講習内容の一部変更が必要である。	
69	事業名	<b>非常備消防施設整備事業費</b>
	<実施内容>	<p>消防団のポンプ取扱い研修会を7回（4月2日～5月29日の間）実施</p> <p>内容（1）ポンプ性能検査</p> <p>（2）ポンプ取扱研修及び訓練 （水利部署・ポンプ運用・中継要領についての研修訓練）</p> <p>（3）緊急走行時の安全管理</p> <p>（4）資機材等員数点検</p> <p>（5）初任団員研修（各個訓練、訓練礼式、ホース延長、筒先保持要領等）</p>
	<成果や課題>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ポンプ取扱い研修会を実施することにより、消防団員の育成ができ、消防団を中核とした地域の防災力の強化に貢献できた。</li> </ul>
	<所管部署による事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>
<今後の取組方針>	<p>▶ポンプ取扱い研修については、実施の方法等について検討や見直しを考慮をしつつ今後も計画通り進めていく。</p> <p>▶消防職員及び消防団員の協力体制をより強固なものとし、地域の安全安心を守る強固で持続可能な消防体制を築き上げていくよう取り組んでいく。</p>	

施策名	26 安心して暮らすことができる生活環境づくり	主担当課	生活課
施策の将来像	日常生活における様々な不安や問題が解消され、市民が安心して暮らすことができる生活環境が形成されています。		

目標指標の達成状況			R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
No.	指標名 (単位)						
1	交通事故発生件数 (件)	目 標 値	126	121	116	111	106
		実 績 値	184				
2	刑法犯認知件数(人口1,000人あたり) (件)	目 標 値	3.46	3.29	3.13	2.97	2.82
		実 績 値	3.41				
3	交通安全教室開催件数 (件)	目 標 値	186	195	205	215	225
		実 績 値	138				
4	消費生活出前講座の啓発活動回数 (回)	目 標 値	12	12	12	12	12
		実 績 値	2				

施策を構成する 主な事業の実施状況		
No.	項目	内容
70	事業名	<b>見笹霊園費</b>
	<実施内容>	見笹霊園の維持管理 新規使用許可：27件 返還：21件 R5,4,1時点利用可能区画数：76区画 新規墓域造成工事
	<成果や課題>	●現在利用可能な区画を適時提供することができ、利用希望者に対する墓地区画の確保はできている。 【課題】今後は17号墓域の新規供用開始及び規制墓地の墓碑の設置基準等の見直しなどにより、市民ニーズに合わせた運営ができるよう取り組んでいく必要がある。また、合祀墓の設置や永代供養など、新たなニーズに対応できるよう計画していく必要がある。
	<所管部署による 事業の評価>	<b>B：事業の進め方を改善・検討する</b>
	<今後の取組方針>	▶時代とともに変化しつつある市民ニーズに柔軟に対応しながら着実に計画を実施していく。

施策名	27 彩り豊かな協働による市民が主役のまちづくり	主担当課	協働のまちづくり課
施策の将来像	市民一人ひとりが認め合い、支え合い、様々な分野で活躍できる協働のまちが形成されています。		

目標指標の達成状況							
No.	指標名 (単位)		R4	R5	R6	R7	R8
1	市民、市議会、行政が連携してまちづくりに取り組んでいると感じている市民の割合 (%)	目標値	—	32.5	—	32.7	—
		実績値	—				
2	自治会やコミュニティの活動（地域のお祭り、清掃等）、市民団体やNPO等が行う活動、学校や職場などのボランティア活動への参加率 (%)	目標値	—	53.1	—	53.3	—
		実績値	—				
3	市民活動広場ふらっとの利用者数 (人)	目標値	24,293	24,469	24,646	24,823	25,000
		実績値	10,889				
4	多文化共生ボランティア登録者数 (人)	目標値	91	93	95	97	100
		実績値	93				

施策を構成する 主な事業の実施状況		
No.	項目	内容
71	事業名	<b>協働のまちづくり推進事業費</b>
	<実施内容>	市民活動広場ふらっとの運営：利用者10,889人 市民協働モデル事業補助：5件 360,200円 （内ファーストステップ：3件 210,000円、ステップアップ：2件 150,200円） 地域ボランティア活動補償制度保険料：496,360円（傷害補償：4件 224,000円） とちぎ高校生地域定着促進モデル事業：参加者16名 375,000円 コミュニティ育成事業：2件 5,000,000円 他
	<成果や課題>	●中間支援機関であるかぬま市民活動広場ふらっとの運営、市民協働モデル事業、高校生地域定着促進モデル事業などの取組により、協働・共創のまちづくりの推進に寄与することができた。
	<所管部署による事業の評価>	<b>B：事業の進め方を改善・検討する</b>
	<今後の取組方針>	▶引き続き、協働共創のまちづくりを担うテーマ型団体の育成を進めるため、各種団体と意思の統一を図り、より効果的に各種支援を展開する。

72	事業名	<b>地域のチカラ協働事業費</b>
	<実施内容>	自治会報償金：147件 36,924千円 見守り隊謝礼他：2,355千円 地域づくり活動事業：19件 32,791千円 地域のチカラ協働事業：6件 6,086千円
	<成果や課題>	●自治会への報償金、地域づくり活動事業、地域のチカラ協働事業などの取組により、協働・共創のまちづくりの推進に寄与することができた。
	<所管部署による事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>
	<今後の取組方針>	▶引き続き、地縁団体の持続可能性向上の視点を踏まえつつ、計画どおり各種支援を展開する。
73	事業名	<b>コミュニティセンター維持管理費</b>
	<実施内容>	施設修繕：3,440,360円 (南摩コミセン空調機器修繕、北押原コミセン窓口カウンター修繕、菊沢コミセン給水ポンプ修繕、粟野コミセン階段床修繕ほか)
	<成果や課題>	●コミュニティセンターは地域の拠点であることから、施設の機能的集約等を検討するにあたっては地元住民と意見交換を密に行い、地域の要望等を確認しながら検討していくことが重要である。また、多くの施設が老朽化し、建物本体や電気及び排水設備等の劣化や損傷による修繕が多発していることから、施設の長寿命化も並行して進める必要がある。 【課題】今後、人口が減少する中で、市民への行政サービスの供給と維持管理コストのバランスから、各地区に配置すべき機能の妥当性についても検討を余儀なくされている。
	<所管部署による事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>
	<今後の取組方針>	▶地区コミュニティセンター整備方針に基づき、計画どおり進める。

74	事業名	<b>国際交流推進事業費</b>
	<実施内容>	外国人相談窓口委託 7,778千円 国際交流協会運営補助 11,196千円 多文化共生研修講師謝礼等 137千円
	<成果や課題>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●やさしい日本語について、職員への研修や庁内インフォメーションを活用した周知啓発を行ったことにより窓口対応の改善等につながり、外国人住民をはじめ、子供や高齢者、障がい者にとっても正しくわかりやすい情報伝達手段の普及や利便性の向上に寄与した。</li> <li>●デジタル化を推進しつつ、外国人住民の中でも在留資格や国籍等立場の違いによって、情報が届きにくい方への情報発信方法に配慮する必要がある。</li> </ul>
	<所管部署による事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>
	<今後の取組方針>	第3期多文化共生プランに基づき、引き続き事業を展開していく。

施策名	28 多様性を認め合い誰もが個性や能力を発揮できる社会づくり	主担当課	人権・男女共同参画課
施策の将来像	一人ひとりの違いを認め合い、尊重し合い、社会のあらゆる分野に全ての人々が主体的に参画しています。		

目標指標の達成状況

No.	指標名 (単位)		R4	R5	R6	R7	R8
1	人権侵害されていないと感じる割合 (%)	目標値	—	79.6	—	85.0	—
		実績値	—				
2	多様性に対する理解度 (%)	目標値	—	52.3	—	55.0	—
		実績値	—				
3	市審議会等への女性登用率 (%)	目標値	30.0	30.0	30.0	30.0	40.0
		実績値	24.1				

施策を構成する  
主な事業の実施状況

No.	項目	内容
75	事業名	<b>人権施策推進事業費</b>
	<実施内容>	人権意識高揚のための啓発 人権パネル展：2回開催、人権啓発講座：2回開催、人権講演会の開催：参加者122名、広報かめまへの掲載：3回、人権相談の開設：相談件数10件 パートナー＆ファミリーシップ宣誓制度の運用【宣誓件数（令和5年3月現在）：4件】
	<成果や課題>	●人権擁護委員等の協力を得て実施しており、参加者を対象にしたアンケートにより効果が確認できた。 ●今後の開催についても、目的・規模に見合った会場の選定等、効率と効果のバランスが取れた取り組みを実施していく。
	<所管部署による事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>
	<今後の取組方針>	▶引き続き、関係機関と協力しながら効率的かつ効果的に取り組みを進める。

	事業名	<b>男女共同参画推進事業費</b>
	<実施内容>	講演会「ときめき鹿沼2022」の開催：参加者56人 情報紙「かれんと」の発行：9月・2月発行 各31,900部 「イクボス」の普及啓発：市長を中心に宣言 167人、研修会 172人 市長による「おとう飯キャンペーン」参加など 女性に対する暴力をなくす運動：街頭啓発2か所（300配布） 女性相談の実施：388件（新規82件、再相談306件）
76	<成果や課題>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●講演会や街頭啓発、子育てと仕事を両立できる環境づくりを市三役及び管理職による「イクボスカめま宣言」などの各種啓発事業を精力的に実施した。</li> <li>●それらの広報活動により、男女が尊重しあい、あらゆる分野で対等に参画する社会に向けた意識づくりに貢献することができた。</li> <li>●講座の企画運営や情報の発信については、市民協働の取り組みを進めていく。</li> </ul>
	<所管部署による事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>
	<今後の取組方針>	<p>▶講演会や街頭啓発については、引き続き男女共同参画社会づくり実行委員会へ委託し官民協働で啓発を行う。</p> <p>▶「イクボス」の市内事業所への普及・啓発については、合同宣言式及びシンポジウムの開催など、計画どおり進めていく。また、ワーク・ライフ・バランス推進事業者表彰（認定）制度の導入について検討を進めていく。</p>

施策名	29 シティプロモーション・移住定住の戦略的推進	主担当課	いちご市営業戦略課
施策の将来像	訪れたい・住みたいまちとして全国的に認知されるとともに、住んでいる人が愛着と誇りを持ち、住み続けたいと思うまちになっています。		

目標指標の達成状況			R4	R5	R6	R7	R8
No.	指標名 (単位)						
1	シティプロモーションサイト「ジブンスマイルかぬま」サイト訪問者数(千人)	目標値	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
		実績値	68.9				
2	市民の「鹿沼市に対する好意度」(%)	目標値	—	88.9	—	90.0	—
		実績値	—				
3	市が相談を受けた移住希望者のうち実際に移住した人の割合(%)	目標値	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0
		実績値	17.5				
4	各種SNSフォロワー数(合計)(人)	目標値	8,000	9,000	10,000	11,000	12,000
		実績値	15,007				

施策を構成する 主な事業の実施状況		
No.	項目	内容
77	事業名	<b>営業戦略費</b>
	<実施内容>	いちご市かぬまPRイベント「いちごのもり」の開催 新プロジェクト「いちごの聖地プロジェクト」のスタート 広告宣伝事業（電柱ラッピング、「もんみや」いちごのもり広告掲載） 魅力発信（産経新聞移住体験ツアー、足立区バスツアー等） ノベルティグッズ作成（ボックスティッシュ、軍手、付箋）
	<成果や課題>	●コロナの影響で直接的なPRができなかったが、市民イベント「いちごのもり」は市民参加のマルシェ形式で開催でき、40店舗が出店、8,000人の入場客を集めた。 ●各種SNSのフォロワー数は、目標8,000人に対し約15,000人がフォローしており、今後は対外的なリアルプロモーション（時勢や手法を考慮した首都圏ターゲットへのセールス等）と併用してデジタルプロモーション（広告等）も取り入れていくことを検討する。
	<所管部署による事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>
	<今後の取組方針>	▶引き続きいちご市の認知度向上に取り組む。

78	事業名	<b>まちづくり戦略事業費</b>
	<実施内容>	<p>移住・定住促進戦略の策定  市の支援策による移住者数：48人  移住支援補助金の交付：7件・18人（620万円）  移住体験施設「おためしの家」利用者数：7件12人  イベントの開催、出展：都内相談会、市内体験ツアー2回、大型移住イベントへの出展2回、オンライン移住セミナー1回 など  地域おこし協力隊：1名委嘱 ※令和5年度に向けた公募も実施（1名委嘱）</p>
	<成果や課題>	<p>● 対面型の移住イベントの開催・出展など主に東京圏に向けたPR活動を再開したことにより、移住相談件数、移住者数ともに前年度を上回った。  ● コロナ後の社会情勢や移住希望者のニーズの変化に対応するため、本市の移住・定住施策の基本的な考え方を示した「移住・定住促進戦略」を策定した。  【課題】本戦略の重点ターゲットでもある地域に貢献できる外部人材の獲得に向け、地域おこし協力隊や地域活性化起業人の活用、補助事業における新たなインセンティブ付与など、必要な人材を必要な分野へ繋げる機能を強化する必要がある。</p>
	<所管部署による事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>
<今後の取組方針>	<p>▶ 人と人、人材と課題を繋ぐ事業を推進する。  ・地域課題と外部人材を繋ぐマッチング事業の実施（課題設定に基づく人材募集）  ・移住者や移住希望者が交流するコミュニティサロンの開催  ・移住支援補助金の活用促進（交付要件の拡大、市内事業者への対象求人の登録呼びかけなど）</p>	

施策名	30 健全な行財政基盤づくり	主担当課	総合政策課
施策の将来像	最少の経費で最大の効果を発揮する計画行政により、健全で持続可能な行財政基盤づくりに向けた体制が確立されています。		

目標指標の達成状況							
No.	指標名 (単位)		R4	R5	R6	R7	R8
1	実質公債費比率 (-)	目標値	-	-	-	-	5%以下
		実績値	1.8%				
2	将来負担比率 (-)	目標値	-	-	-	-	10%以下
		実績値	-				
3	財政調整基金残高 (千円)	目標値	3,157,000	3,193,000	3,229,000	3,265,000	3,300,000
		実績値	3,617,068				
4	市税(国保を除く)収納率(現年滞繰合計) (%)	目標値	95.9	96.4	96.7	97.0	97.2
		実績値	96.3				
5	公共施設維持管理費(更新費含む) (億円/年)	目標値	55.8	55.8	55.8	55.8	55.8
		実績値	-				
6	ふるさと納税額(個人向け) (千円)	目標値	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
		実績値	470,387				



施策名	<b>31 行政情報の発信と市民の声の把握の充実</b>	主担当課	秘書室
施策の将来像	的確な情報発信と幅広い市民の声の聴取により、市民が市政の一翼を担っているまちになります。		

目標指標の達成状況							
No.	指標名 (単位)		R4	R5	R6	R7	R8
1	広報・広聴に対する充実度 (%)	目標値	—	80	—	80	—
		実績値	—				
2	世論調査回答率 (%)	目標値	—	40	—	43	—
		実績値	—				
3	市ホームページ ユーザー数 (1日当たり) (人)	目標値	2,000	2,050	2,100	2,150	2,200
		実績値	4,110				

施策を構成する 主な事業の実施状況		
No.	項目	内容
	事業名	<b>広報広聴活動費</b>
	<実施内容>	広報かぬまの発行：月32,100部 市長定例記者会見：11回開催 集団広聴：2団体 個別広聴：153件
	<成果や課題>	●広報かぬまや市長定例記者会見、SNSの活用により、市民生活や行政運営に不可欠な情報を効果的に発信することができた。 【課題】 広報かぬまについては、デジタルとの連携強化や見やすさ、わかりやすさの向上を図る必要がある。
	<所管部署による 事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>
	<今後の取組方針>	▶紙面構成の見直しやアイコン・写真等の活用により、わかりやすく親しみやすい広報かぬまの紙面を目指す。 ▶「市政に関する世論調査」の実施により、市民の声を調査し、市政への反映を推進する。

施策名	32 多様な幸せを実現するためのデジタル化	主担当課	デジタル政策課
施策の将来像	デジタルという「手段」を用いて行政事務の効率化や市民の利便性の向上が図られ、市民生活が豊かなものになっています。		

目標指標の達成状況			R4	R5	R6	R7	R8
1	RPA導入等により削減された時間 (時間)	目標値	40	50	60	70	80
		実績値	114				
2	デジタル技術の導入により行政サービスが便利になっていると感じる市民の割合 (%)	目標値	—	45	—	50	—
		実績値	—				
3	電子申請移行数 (件)	目標値	14	18	22	26	30
		実績値	29				
4	マイナンバーカード普及率 (%)	目標値	40.0	45.0	48.0	50.0	52.0
		実績値	65.7				
5	住民票等のコンビニ交付率 (%)	目標値	7.0	9.0	10.0	12.0	13.5
		実績値	12.9				

施策を構成する 主な事業の実施状況		
No.	項目	内容
	事業名	<b>マイナンバーカード取得促進事業</b>
	<実施内容>	令和4年9月、鹿沼市マイナンバーカード普及促進本部の立ち上げ 低迷する取得率の向上のため、マイナンバーカード取得者に1千円分のクオカードを配布 イベント会場や個別の出張申請を強化するため、マイナンバーカードを導入
	<成果や課題>	●イベント会場や事業所へのお出張申請、マイナンバーカードの導入、クオカードの配布等を行った結果、令和4年度当初35.3%だった取得率が令和5年3月末では、65.7%まで達した。 【課題】引き続きマイナンバーカードの取得促進を図るとともに、カードの利用拡大を図る必要がある。
	<所管部署による 事業の評価>	<b>A：計画どおりに事業を進める</b>
	<今後の取組方針>	▶令和5年3月に策定した「鹿沼市デジタル化方針」に基づき、デジタル技術を有効に活用した市民サービス向上や行政事務の効率化に努める。